

平成25年第1回

伊根町議会定例会会議録

平成25年3月13日（第2号）

伊 根 町 議 会

平成25年第1回（定例会）

伊根町議会 会議録（第2号）

招集年月日	平成25年 3月13日 水曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	平成25年 3月13日 9時26分			議長	宮下 愿吾	
	延会	平成25年 3月13日 15時06分			議長	宮下 愿吾	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席10名 欠席 0名
	1	和田 義清	○	6	松山 義宗	○	
	2	上辻 亨	○	7	三野 三千彦	○	
	3	濱野 茂樹	○	8	泉 敏夫	○	
	4	宮下 愿吾	○	9	大谷 功	○	
5	佐戸 仁志	○	10	奥野 良一	○		
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席11名 欠席 1名
	町長	吉本 秀樹	○	総務課主幹	鍵 良平	○	
	副町長	小西 俊朗	○	住民生活課主幹	上山 富夫	○	
	教育長	石野 渡	○	地域整備課主幹	泉 吉広	○	
	総務課長	泉 良悟	○	地域整備課主幹	須川 清広	○	
	住民生活課長	芦原 誠	○	教育次長	梅崎 良	○	
地域整備課長	白須 剛	○	会計管理者	前野 義明	×		
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	今岡 敬雄	○	主 事	上岡 真次	○	
会議録 署名議員	2番	上辻 亨		7番	三野三千彦		
議事日程	別紙のとおり						
会議に付 した事件	別紙のとおり						
会議の経過	別紙のとおり						

平成25年 第1回 伊根町議会定例会

議事日程 (第2号)

平成25年3月13日(水)
午前 9時26分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第1号 平成25年度伊根町一般会計予算
(質 疑)
- 日程第 3 議案第2号 平成25年度伊根町国民健康保険特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 4 議案第3号 平成25年伊根町簡易水道特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 5 議案第4号 平成25年度伊根町下水道事業特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 6 議案第5号 平成25年度伊根町財産区特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 7 議案第6号 平成25年度伊根町介護保険特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 8 議案第7号 平成25年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 9 議案第8号 平成25年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算
(質 疑)

会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 1 号 平成 2 5 年度伊根町一般会計予算
(質 疑)
- 日程第 3 議案第 2 号 平成 2 5 年度伊根町国民健康保険特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 4 議案第 3 号 平成 2 5 年伊根町簡易水道特別会計予算
(質 疑)
- 日程第 5 議案第 4 号 平成 2 5 年度伊根町下水道事業特別会計予算
(質 疑)

会 議 の 経 過

平成25年3月13日(水)
午 前 9時26分 開議

◎ 開会・開議の宣言

○議長(宮下愿吾君) おはようございます。ご苦労さんでございます。

ただいまの出席議員は全員です。

これより、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(宮下愿吾君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第116条の規定によって、議長において

2番、上 辻 亨 君

7番、三 野 三千彦 君を指名します。

◎ 日程第2 議案第1号

○議長(宮下愿吾君) 日程第2、議案第1号 平成25年度伊根町一般会計予算を議題として、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例によりまして歳入全般を一区切り、歳出の1款議会費から4款衛生費までを一区切り、5款労働費から8款土木費までを一区切り、9款消費費から14款予備費までを一区切りとし、合計4区切りとして行いますのでよろしくお願いをします。

また、十分審議が尽くせるように、平成25年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないこととしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(宮下愿吾君) 異議なしと認めます。平成25年度全会計の予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないことと決定をしました。十分な審議が尽くされることを期待いたします。

それでは初めに、一般会計の歳入全般を対象として質疑を行います。質疑ありませんか。9番、大谷功君。

○9番(大谷 功君) 19ページの12款分担金及び負担金の養護老人ホーム入所者負担金でございますが、前年度よりふえておるわけですが、これは2カ所ですか、施設がふえているということだろうと思うんですが、伊根町の老人ホームの入所者数というのは何人になっているのか、予想されているのか。それから、今後、新しいホームにどれくらいあきがあるのか、そこらの状況について教えていただきたいと思います。

それから、もう一点、その下の保育所運営費負担金ですが、これも昨年度より大分ふえておるんですが、こんなにふえるのかなと思っておるんですが、人数を教えていただければありがたいです。

○議長(宮下愿吾君) 芦原課長。

○住民生活課長(芦原 誠君) 特養の養護老人ホームの入所者数でございますでしょうか。その関係、今現在でしたら大体二十七、八名というところが入所……、特養ですね。

○9番(大谷 功君) 養護老人ホーム。

○住民生活課長(芦原 誠君) 養護のほうは現在5名、特養のことではないですか。

それで、新しいホームの入所の状況ですが、ちょっとまだうちのほうではきちっとした把握はできておりませんが、大体半数ぐらいがそれぞれ入所されておるように聞いております、現時点で。

保育所の負担金の増でございますが、これは保育所の入所者数の増によるものでございます。人

数ですが、全協のときに説明させていただきましたけれども、伊根保育園では28名、本庄は12名を見込んでおります。

○議長（宮下愿吾君） よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 18ページ、19ページでございます。

こちら町営住宅使用料1,579万7,000円とあります。平成24年度の当初では1,512万5,000円、定住促進化住宅が7月から公募を開始されて、少なく見積もってもこのぐらいの差額以上の倍ぐらいの収入が上がってくるはずなんですけど、ここの積算根拠をご教示願います。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 大変申しわけありません。議員ご指摘のとおり平田団地の分が丸々計上漏れとなっております。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 完成するんですよね、なぜこんなことが起きるんですか。漏れる理由がわかりません、お願いします。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 内訳団地名と戸数を上げておりましたが、前年度の積算内容をそのまま計上していたということで、こちらのチェックミスでこれはお詫りするしかございません。申しわけありません。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 町長、これどうですかね、こういったことは。普通考えないと私は思うんですけども、町営住宅が新しく建てかけているのにそれを把握してなかった、どうもすみませんというものでないような気がするんですけども、いかがですか。

○議長（宮下愿吾君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 甚だ私も返答に困るところでありまして、このようなことのないように今後、全職員にしっかりと指導してまいりたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） よろしいですか、3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） きょうも予算書のシールを張っていただきました。こういったことが去年も繰り返されました。ことしもまた同じように予算計上ミスが生じています。二度とこういったことを起こさないように、係長、課長につきましては、しっかりと職員の把握をしていただいて対処いただきたく思います。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 確認させていただきたいんですが、28、29ページに関連いたしまして、失礼しました。財産収入ですので26、27ページでございますが、こちらの財産収入で預金のほうの定期運用がされていることというふうに理解しているわけなんですけど、こちらの預金の預け入れ先につきましては、指定金融機関である京都銀行、収納代理金融機関である京都北都信用金庫、京都農業協同組合、あと収納代理金融機関でございますが、そちらの京都府信漁連、この4つに預けられているという理解でよろしいでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 議員のおっしゃられました金融機関のとおりでございます。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 昨日の全員協議会の予算の説明の中で、一般会計では基金利子のほうが減ったのはペイオフ対策で小口化していったという答弁をいただきました。かと思えば、国保の事業勘定では、小口化していたものを大口化したから預金利息がふえたんだという答弁をいただきました。実際のところはこういった運用がされているか。ペイオフの対応方針について、平成14年3月のこれをいただいております。今後、今見直しをしている最中だということでご回答いただいたと思うんですが、その見直しの今の現状等もお聞かせいただければというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） 暫時休憩をいたします。

休憩 9時42分

再開 9時44分

○議長（宮下愿吾君） 再開をいたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

鍵主幹。

○総務課主幹（鍵 良平君） 金融機関の状況等を把握しながら基金のそれぞれの金融機関の預け入れ残高、こういったものを勘案して預け入れる単位を現状よりも大きくしたりあるいは分散したりして預け入れの方法を見直すということでございます。よろしく願いいたします。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ふるさと応援寄附金、28ページ、29ページでございます。

先日の補正予算で町長さんのほうから、別にふるさと納税はそれほど多くPRしなくても、伊根町のためを思えば、伊根町のこの景色に対してふるさと納税をしていただける人がふえるんだと。そのために日本で最も美しい村なんかにも加盟しているという取り組みを推進していこうというお話をしていただいたかというように思うんですが、今見ていると、我々議員につきましてはそれぞれの思いがあってバッジをつけている、つけていないというのは思うわけなんです、日本で最も美しい村のバッジを町長、副町長、住民生活課長は見えるんですけども、あと教育長と、ほかの課長さん方つけていらっしゃる方も結構いらっしゃる、これはいかがなものなのか。

予算の絡みとしてふるさと納税を日本で最も美しい村ということを使ってという形であれば、ぜひとも職員さんにおかれてはつけていただきたいなど。もちろん我々も町外へ出るときにつきましては、日本で最も美しい村のバッジをつけてそういった活動をしていきたいと思っておりますので、ぜひお願いいたします。

○議長（宮下愿吾君） これ答弁は要りませんね。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 今の関連質問なんですけれども、平成20年4月からふるさと納税が始まったわけなんです、PR効果が上がれば、また自治体の工夫と頑張りが即効性につながると言われておりますけれども、市町村の中ですか、大きい町では高額な2億円だとか何億も納税される方がおられるわけなんですけれども、そういった高額な納税をされた方に対して何か対策と申しますか、そういうことを考えておられますか。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 高額な納税者につきましては、寄附でございますので、大口ですと150万円とかいう方もおられます。そういう方々については高額者ということで自治功労者表彰等の該当者にもなりますので、そういうところで感謝をさせていただいているところでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。10番、奥野良一君。

○10番（奥野良一君） 14ページですか、町税ですね。法人税につきまして、この間の説明で57社というふうにお聞きしたというふうには思うんですが、昨年から見ますと約100万、97万9,000円ですか、落ち込みがあるわけですが、昨年度は法人としての数ですね、どれぐらいあったのか。何社ぐらいがやめられてこれぐらいの100万近くの法人税の収納になっておるのか、その辺が教えてほしいと思います。

○議長（宮下愿吾君） 上山主幹。

○住民生活課主幹（上山富夫君） 昨年の当初予算の計上では62社を見込ませていただいております。それを今回の25年度の予算計上では57社というふうに見込ませていただいております。

○議長（宮下愿吾君） 10番、奥野良一君。

○10番（奥野良一君） 昨年は62社と、本年57社ということですが、この法人につきまして、もしお示しがいただけるのであれば、業者名なり教えていただけたらありがたいですけれども、業者名だけで結構です。何社なのかということでお世話になれたらありがたいかなというふうに思っております。

それと、62社から57社に減ったということですが、これはきちっとした会社の、やめられたところもあるかもわかりませんが、法人をやめて個人にされたのかどうか、その辺も教えていただけたらありがたいです。

○議長（宮下愿吾君） 上山主幹。

○住民生活課主幹（上山富夫君） それぞれの法人等の社名等についてはお答えすることにはならないのかなというふうに思っておるところでございます。

また、現状につきましては、多くは廃業ということで届け出のあったものを見込んで想定をさせていただいて、トータルで5社の減というふうに見込んでおるところでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 14、15ページ、固定資産税でございます。

こちらの現年課税分の予算には即時執行停止分は含まれますか。

○議長（宮下愿吾君） 上山主幹。

○住民生活課主幹（上山富夫君） 申しわけございません。その回答につきましては、確認をさせていただいて報告をさせていただきたいと思っております。申しわけございません。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 28ページ、29ページでございます。

今年度、中学校建設という大きな事業があると思うんですが、財政調整基金の取り崩しは昨年度に比べ大きく減っております。これの要因と、あと当初予算編成後の財政調整基金の残高はどのようになりますでしょうか、お願いします。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 最初のご質問の財政調整基金の繰入金の大きな減額でございますが、昨年度は町単独として財政調整基金から住宅建設費として大きく取り崩しを行っておりますので、その部分が大きな要因となっております。

学校建設の部分につきましては特定財源、いわゆる補助金、負担金、こういったものでやりますので、財政調整基金に関する影響は出てこないというふうに考えております。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 新年度予算編成後の取り崩しを加味しまして、財政調整基金残高につきましては9億3,010万6,000円を見込んでおります。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 16ページの自動車取得税交付金なんですけれども、昨年と比較しますと449万5,000円と計上されております。これについての主な要因を教えてください。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 自動車取得税交付金でございますが、今年度の予算で449万5,000円の増を見込んでおります。この要因につきましては、過去3年間の伸び率を考慮しまして今回計上しております、本来ですと京都府のほうから事前に金額の提示があるんですが、それが無いということから伸び率でもって計上させていただいているところでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（宮下愿吾君） 質疑なしの声もあります。これで歳入全般についての質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（宮下愿吾君） 異議なしと認めます。これで歳入全般についての質疑を終わります。

全一般会計から特会を含めて最後に全部を通しての質疑もまたお受けをいたしたいというふうに思っておりますので、そういうおつもりでお願いをいたしたいと思っております。

それでは、次に、1款議会費から4款衛生費までを対象として質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 45ページ並びに47ページ、空き家対策事業と交通安全対策費についてお願いをしておきます。

まず、交通安全対策費で、昨年9月の議会のほうで質問させていただいて、協議会の開催を早急にしていただくようお願いしたかと思っております。しかしながら会議の開催は2月でございました。2月に開催された会議の内容や出された意見につきましては、この25年度の当初予算には到底反

映されていないというふうに思っております。しかしながら、このように満を持して開催した会議が実りあるものにするためには、平成25年度につきましてはできるだけ早く開催いただいて、その内容・意見が25年度の補正なり26年度当初予算に反映をしていただけるようお願いしたいというふうに思います。

また、今年度、定住促進について一步新たに前進したのかなというふうに思っております。空き家対策事業も同様に早期に開催を、人選等いただいて意見のほうが予算等に反映いただけますことをよろしくお願ひいたします。答弁は不要でございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。8番、泉敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） 36、37ページで自衛隊の事務委託金、わずかでございますが、これはどのような事務をされておられるのか。また、それと最近、国のほうで町のほうにも説明があったと思いますが、エクスパンドレーダーについての今後説明をされていくことがされる予定なのか、もう京丹後市においては袖志地区から丹後町のほうまでずっと地域での説明会がなされておるといように聞いております。もともと反対とか賛成とかいうことまでに町長さんの考えをこの辺についてお聞きさせていただきたいと思ひます。

○議長（宮下愿吾君） 泉議員、今、エクスパンドの件につきましては、この予算じゃなしに会期中に全協において町長のほうからご説明をいただくということにしておりますので、そのようにご理解いただけませんか。

○8番（泉 敏夫君） じゃないもので、わからないのでちょっと質問させてもらったまでです。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 泉議員のご質問の自衛官の募集関係の事務の委託金でございますが、こちらでいいますと福知山のほうの自衛隊のほうから毎年、自衛官の募集等のチラシなり、そういった普及啓発を行っていただきたいというお願ひもあることから、例年ですがこういった委託金が伊根町のほうに交付をされているということでございます。普及啓発費というふうに捉えていただいたらというふうに思っております。

○議長（宮下愿吾君） 2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 40、41ページの町営バス運行事業ということで大きく減額されておられるわけですが、これについての要因を教えてください。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 今回の減額につきましては、以前、野室地区から運行しておりました野室号、野室線ですね。これが制度の廃止に伴いまして一般混乗がなくなりましたので、その分の経費を大きく減額させていただいているというのが要因でございます。

○議長（宮下愿吾君） 2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 町営バスの運行ということで大変地域の人には助かっていると思うんですけども、高校生が通学のために町営バスを利用して路線バスに乗るわけですが、筒川地区は路線バスが近くに通って走っていない。高校生だとか通院をされる方にとっては行き帰りにつき300円かかるという、与謝の海まで200円で行けるわけなんですけど、筒川地区においては町営バスに乗って路線バスに乗っていかんなんという差が出てきておられるわけですが、この差を解消するような何か方策というんですか、考えというのはありませんか。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 上辻議員のご質問ですが、本来国道178号を中心に蒲入線、伊根線等が現在運行されております。その他以外の集落については伊根町の形状といいますか、集落のそれぞれの形成の中で葉脈上といいますか、そういったところに集落がございます。当然、幹線道路まで出てくるといことで丹海に乗り継ぎをさせていただくということで、町といたしましてはその幹線に出てくるところの町営バスを運行させることで住民の足の確保を図っております。

したがいまして、そこには経費をかけているわけですね。それはやはり応益負担ということが根底にあるんだろうというふうには思っております。運賃料金300円上限にしておりますが、これを150円化にしたというのもう一つ軽減策としてやらせていただいた1つの方策でありますので、確かに往復300円プラスになりますけど、そういった地形的なことでもそれを救済するための

町営バスの運行ということでございますので、その部分については応益負担ということでご理解をいただかないと全てただにするということになれば、町の委託金はますますふえていくということになりますので、その点よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） よろしいですか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 高校生は毎日通学に使うわけです。また高齢者の方にとっても免許を自主返納され、また通院とかに使われる方もおると思うんです。何らかの対策を進めてほしいというんですけれども、毎日使う方にとっては非常にこの町内、路線バスまで出るのに300円行き帰りかかるというのはすごく不公平感を持っておるところです。何かそういった方策といひますか、そういうものが考えられたら考えてあげていただきたいというふうに思ひます。

以上です。答弁はいいです。

○議長（宮下愿吾君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 不公平を我々つくっておるわけじゃないんですね。今まで路線のないところに町営バスを走らせる。その料金の300円を150円に下げる。高校生には今まで蒲入地区やったら30万近いものを町が負担をする、8万円近いものを。今度は路線バスに町民補助を出して通学者に対しては30万近いものが10万ちょっとで済むようになった。このような我々は政策を打って努力して軽減していつておるんですね。そこで不公平が生まれておると言われるとちょっと甚だ心外なんですね。課長の答弁どおりでありますからその辺はご理解願ひたい。議員がそうおっしゃるんだから何とかその部分も解消できるような方法もまた考えては、検討はいたしますけれども、そういうふうによくしていつているというふうなところはご理解いただきたい。

○議長（宮下愿吾君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 関連質問ですけれども、私も今ご説明ありましたように公益負担、あと今までないところにそういう施策をしていただきまして、便利なふうにしていただいているというのは十分理解しております。ただ施策をやっていくうちに、いつも町長おっしゃられますように見直しという部分がありますので、せっかくお金を使って税金を使ってやっていただいておりますので、結構筒川の奥地の方は、特に診療所に来られる方は割と町営バスを利用されるんですけれども、受診日が減ったということでその1日が前も、前日も松山議員のほうからそのお願ひがありましたけれども、便利がどうしてもちょっと以前と比べて悪くなっているんですね。バスに乗れないということがありますので、せっかくやっていただいているので今後も見直しをしていただいて、なるべく便利なようにしていただくようにお願ひしたいと思います。答弁は結構です。

○議長（宮下愿吾君） 今、和田議員には答弁はよろしいと言ひましたけれども、先ほどの上辻議員の町長の後の答弁でございますか、別によろしいか。

ほかに何か質疑ございませんか。8番、泉敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） それも同じような関連にはなるうかと思ひますが、免許返納、町内では今どれぐらいの方がされておるのか、再度教えていただきたいなと思ひます。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 現在記憶しておりますのは昨年1件、ことしに入ってから2件で3件と一応記憶はいたしておりますが。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。5番、佐戸仁志君。

○5番（佐戸仁志君） 庁舎の浄化槽の関係のことなんですが、浄化槽……

○議長（宮下愿吾君） 何ページでしたっけ。

○5番（佐戸仁志君） すみません、ちょっと眼鏡を忘れまして、37ページ。

清掃業務85万9,000円、これは何月ごろに行われる予定のものなんでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） すみません、確認をさせていただいて後ほどご答弁させていただきます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） まず、80ページの一番下の年金総務費の中で本年度予算の財源内訳で、一般財源でマイナス24万7,000円という財源内訳がございません。マイナス24万

7, 000円の財源内訳というのは、これはどういったものの場合こういった使い方をするのかというところと、あと64ページ、65ページ、民生福祉費の中で府の補助金で市町村未来づくり交付金、こちらの財源にもゼロが表示されております。これはどういう意味でこういった計上がされているのかお教え願います。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） すみません、財源のほうについては確認をさせていただくということになりますが、この未来づくり交付金ということで出ております。これは安易な充当財源のことで表示されるべきものをそのまま残しておるということで安易なミスでございます。申しわけございません。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） また後でシールを張っていただけるのかなと思っているんですけども、年金のほうのマイナス24万7,000円、こちらについての説明をお願いいたします。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 申しわけありません。午後ちょっと調べさせてもらいまして報告をさせていただきたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 総務課長、市町村未来づくり交付金、これは住民生活以外にも充当する財源が本来なら出てくると思うんですけども、ここだけしか表示されていないんですよ。安易なミスということはわかるんですけども、ちょっときょうもシールを張っていただきましたけれども、いかがなものかなと。こういったことが続き過ぎていますのできちんとした対応をお願いしたいというふうに思います。

続きまして、74ページ、75ページでございます。確認でございます。

母子家庭医療費助成事業につきましては、ことしの8月から父子家庭も助成対象となるというふうに私は聞いております。その費用につきましては今回のこの予算に計上されていますでしょうか、お願いします。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） その予算につきましては計上させていただいておりません。この実績を執行していく中で予算の不足がこの部分で生じてくる場合には、補正なりの対応をさせていただきたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） これは、事業としては母子家庭医療費助成事業の中で父子家庭の事業費も、ここで予算のある限りはとりあえず出してしまうおうという形をとられるという答弁ですかね、今の。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） はい、そのとおりでございます。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 今現在、実際どのぐらいの方が対象になるとか、そういった見込みも一切持たずに、これがなくなったときは補正対応、医療にかかわることですので補正で間に合うんですか、実際に。実際にそれと間に合うのかどうかと、間に合わなければ予算流用とかされるんでしょうけれども、25年8月から決まっているんでしょう、この制度。なぜ組めないんですか。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） すみません、まだ正式に決まっていないとは思いますが。ちょっとその辺も確認をさせていただきます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 76ページ、77ページでございます。

放課後児童健全育成事業、ことしにつきましては予算の減額については、伊根地区の利用者がいないということで本庄のみで実施されるというふうにお聞かせいただきました。実際にこれの今現在のきょうまでの利用人数を先日いただきました。ここの予算計上している分ではこれよりもふえ

ると見込んで計上しているのか、ではなくて現状維持で予算計上されているのか、このあたりをお願いします。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 現状維持で予算計上させていただいております。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 以前でも私、質疑させていただいたと思うんですが、放課後児童クラブ、大変ありがたい制度でございます。ですが、利用者が思いのほか私が見る限りは伸びていないというふうに理解しております。それについて25年度の予算編成に当たって何か議論をされたのか、そのあたりがあるようでしたらお答え願います。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） この放課後児童クラブでございますが、25年度、新年度の実施に当たりましてアンケート調査をとらせてもらいました。その中で、まず伊根地区においては希望がなかったこと、それからそのアンケート結果をもとに予算のほうを計上させていただきまして、そのアンケート結果では伊根地区のほうで希望がありませんでしたので、とりあえず今回は落とさせていただきます。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 総論の中でまた質問をさせていただきたいと思っておりますので、アンケートの内容、これのほうをお示しさせていただきたいというふうに思います。

あと、この放課後児童クラブに従事いただく方につきましては、一般事務という形で表記がされております。一般事務というのは一体どういった中で業務をされるのでしょうか、お願いします。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） この放課後児童クラブの指導員さんにつきましては、特別な資格とかいうのがございませんので、ある程度知識を持った方でしたらスタッフとしてやっていただきますので、そういった扱いにさせてもらっております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 今の放課後児童クラブの夏休みの事業報告ということで報告書をいただいておりますわけなのですが、その中に8月16日、2人来られているんですよね。言うたら利用時間はゼロ時間だった、急な休み連絡のため休所されたと書いてあるんですけども、児童を帰ってもらったということで理解させてもらっていいですか。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） すみません、内容につきましてはもうちょっと調べさせていただきますまして答弁させていただきたいと思っております。

○議長（宮下愿吾君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） もう一件、今の子育て放課後クラブでお伺いしたいんですけども、25年度にアンケートをとられたということなんですけれども、そのアンケートをとった時点の、アンケートをとったときには利用時間とか、利用料金とかを示してアンケートをとられたのか。全くこういうことをしようと思うんですけども、あったら使われますかという問い方をされたのか、ちょっとそこだけ教えていただきたいと思いますんですけども、よろしいですか。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） アンケートの内容でございますが、まず、引き続きこれからも放課後児童クラブをされます。それに当たりまして利用されますかというような内容と、それから利用されない理由、それも聞かせていただいております。それから放課後児童クラブの対象者数の対象児童に5、6年生も対象にすべきかというような内容の質問をさせてもらっております。

それで、まず利用されない理由は何ですかというようなことですが、自宅に大人がおり利用する必要がないというのが16人ほどございまして、すみません、そのアンケート……

○議長（宮下愿吾君） もうそれでいいんですか。

○1番（和田義清君） 詳細は結構です。後からまた。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長、もう……。休憩しますか。

暫時休憩をいたしたいと思います。

休憩 10時32分

再開 10時45分

○議長（宮下愿吾君） 再開をいたしたいと思います。休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁保留について答弁をお願いします。泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 佐戸議員さんの先ほどの庁舎管理の浄化槽点検清掃業務の実施時期でございますが、これは実は通常ですと大体秋ぐらいをめぐりに点検清掃を実施するというので毎年行われておりますが、今回予算計上させていただいたのは、下水の供用開始の時期が場合によってずれるというようなことを懸念して今回計上させていただいておるといふふうなことでございまして、現段階では7月の供用開始ということになりますので、それがほぼ明らかとなっておりますので、今回の点検清掃業務については実施する予定はございません。ですから、予算計上段階では時期が不明確なところがございましたので計上させていただいたところでご理解をいただきたいと思っております。

○議長（宮下愿吾君） 5番、佐戸仁志君。

○5番（佐戸仁志君） 今そういうお答えなんですけど、夏ごろの供用開始ということですが、どうも現場を見ていますと公共工事ではあり得ない土曜日にコンクリートを打ったり、日曜に何か作業をしたり、いかにもおこなっているというような感じに見えます。深夜にコンクリートを乾かす送風機の音がごうごういうような音が現場内から聞こえたり、今、課長が言われたようにおこななければこの85万円使わなくて済むということなので、そういうことがないように大きなお金なのでしていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（宮下愿吾君） 上山主幹。

○住民生活課主幹（上山富夫君） すみません、先ほど答弁を保留させていただいておりました内容について私のほうから2件ご説明申し上げたいと思っております。

いずれも濱野議員からご質問いただいた件でございます。

まず、14、15ページのほうの歳入の部分で固定資産税に係るご質問で、即時執行停止分についても含まれているのかというご質問だったかというふうに思っておりますが、その部分も含めて予算計上させていただいております。これが1点でございます。

あと1点ですが、これは予算書歳出の部で80ページの財源内訳の部分でございます。

国民年金費の財源内訳の関係でございますが、一番下の行に一般財源にマイナス24万7,000円が立っておるといふご質問でございました。実はこれにつきましても予算計上時の財源の充当内訳の間違いでございまして、実は国・府支出金73万1,000円のうち、これの上段の職員人件費に充てるべきところを誤って国民年金事務費に全て73万1,000円を計上して充当したために、一般財源のほうシステム上で三角の24万7,000円が立ってしまったということでございます。こちらについても後ほど修正等を調整させていただきたいと思っております。申しわけございませんでした。

○議長（宮下愿吾君） 答弁保留については今のところ以上ですね。

それでは、質疑を続行いたしたいと思っております。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 同じことを繰り返したくないんですけども、確認は誰がするんですか、結局。こういったこと予算の。内訳ぐらいいすので見れば誰が見てもわかるんですよ、私が見てもわかるぐらいいす。どなたがするんですか。

○議長（宮下愿吾君） 全体にわたって、泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） チェックの流れでございますが、予算編成をさせていただいて原稿が回ります。それについて各現課におろさせていただきまして、それをチェックさせていただいて、そのチェック漏れなり、今回のような財源充当等含めましてその辺の確認をさせていただいて、それを最終的にまとめて印刷するというようなことになっております。総務課のほうでも全体をまとめて見ておりますが、こういった状況になっておりました大変申しわけなく思っております。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） もう言いたくないですけども、議会はこういった数値の誤りを指摘するものではないんですよ、予算において。こういったことが起こらないように厳しく処分等を含めてご検討いただきたく思います。

以上です。答弁要りません。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑はございませんか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 66、67ページの暮らしの資金貸し付け事業ということで60万円計上されております。昨年度の利用状況といたしますか、この貸し付け事業に対して利用者が増加傾向にあるのかお聞きしたいです。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） その年度によって利用者の状況が変わってくるんですが、24年度は実績が1件でした。ただし、今後どういったことがあるかわかりませんので、とりあえず前年度並みの予算を計上させていただいております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 同じく67ページなんですけれども、社会福祉推進事業の中の67ページの一番上の住民参加の地域福祉推進事業補助金100万8,000円、これは主にどのようなものに補助される、詳細を教えてくださいなんですけれども。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 本事業につきましては、社協さんやら、それからNPO法人さんに交付している補助金でございますが、高齢者のサロンだとか、それから社協さんのほうでは配食サービスだとか、そういった事業に対して補助金を交付しております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。9番、大谷功君。

○9番（大谷 功君） 同じく67ページなんですが、災害時要配慮者支援事業です。これの食糧費と業務委託費の内容について説明をお願いしたいのと、この災害時要配慮者ということで、いつだったか記憶がありませんが、区長さんを通して多分登録されたのかなと思っておるんですけれども、新規登録または抹消とか、そういう見直しをされておるんですか、お聞きしたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 本事業でございますが、災害時の要配慮者事業でございますが、この事業につきましては重度の方、寝たきりだとかそういった重度の方、伊根町で大体20名ほどいらっしゃるんですが、その方々が長寿苑だとか、それからそういった福祉施設に避難した場合の滞在経費を計上しております。食糧費につきましては流動食用の食糧なんかを提供された場合の食糧費でございます。

登録につきましては、随時修正なり追加なりをしております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） 防災無線についてお聞きしたいと思います。39ページです。

去年1年間、防災無線が海岸ぶちですか、特に山のほうは聞こえないところがたくさんあったわけです。どのような業務点検をされているのか。海等との潮風も吹きますのでもう少し業務点検をしっかりしていただいて、今後、無線が聞こえないというようなことがないようにお願いをしたいというふうに思いますが、業務点検はどのような格好で誰がされておるのか。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 防災行政無線につきましては、建設当時の東芝のほうでお世話になっております。保守点検料も百数十万お支払いをさせていただいて毎年保守点検をさせていただいておるんですが、今回の原因がメーカー自体もなかなかわからないという非常に苦しいといえますか、その対処に苦慮したというようなことでございまして、一度その機械についても持ち帰り最終点検をする中で原因を何とか追求をしていこうと努力はされておりました。幸い改善という形になったわけでございます。いろんな気象条件やら落雷やらいろんな外部からの影響によって、そういった防災行政無線から発する電波に与える影響というのは数多くあると思います。そういうような不測の事態に備えての保守管理を徹底しておるところでございますので、昨年のようなそういった途中で会話が切れてしまうとか、そういったチャイムが切れてしまうとかいうようなことのないようにメ

一カーにも徹底をさせていただきたいというふうに考えておるところでございます。

○議長（宮下愿吾君） よろしいですか。7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） それこそしっかり点検をしていただいて、今後あれが重要なこともたくさんあると思いますので、防災無線そのものが。前回、去年みたいなことがないようによろしくお願いしたいというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑は。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 48ページ、49ページでございます。

まず、活き生きまちづくり応援事業、自治会分700万の計上がされております。22、23、24年度の3カ年ということで同じように交付がされていたわけなんです、今現在において事業を実施していない、実施されなかった自治会もあるように聞いております。そういった自治会の声を聞いておりますと、もう少しあれば一遍にやりたかったんだと。100万あればできるんだが、50万ではなかなかできなかったので踏ん切りがつかなかったという話もありました。例えば使っていない自治会については、3年間使わなかった場合には繰り越して使えるような制度ができないものかお伺いします。

あともう一つ、同じ活き生きまちづくり応援基金の資金の活用事業、ミント機構の分でございますが、補正予算のときの説明の中では、こちらについては支援会議を設けてその中で協議して事業実施に当たると。広報期間には一定の配慮をしていただけたという答弁をいただきました。できましたら、例えばですが、12月まで募集をかけるのではなくて一定期間、6月ぐらいまで切っただいて、その後は随時受け付けをしていただく。その段階から随時審査を開始していただくような仕組みができれば事業実施期間が設けられますのでというような制度ができればなというふうに思います。ご意見をお願いします。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 活き生きまちづくりの事業のほうでございますが、これは自治会に交付しているものでございますが、非常に小さな集落につきましては負担といいますか、そういうものも相まって1回も使途されないというところは議員ご承知のとおりだというふうに思っております。ただ繰り越しをするというのはちょっといかがなものかなという思いもいたしたりしておりますので、事前に今回新たに3年間の期間を設けましたので、十分検討できる時間が私はあると考えておりますので、ぜひそういった自治会についてはこの3年間のうちにしっかりと使途を考えていただきたいという思いでございます。

それと、基金活用事業のほうでございますが、議員のご提案も一定あると思います。6月に切っただけで随時募集ということもあると思いますし、長くとってということもあると思います。その辺につきましてはまた内部で検討させていただいて、やはりめり張りがどうしても必要だと思います。だからと長くとっていても出てこないものは出てこないというふうに思いますし、周知についてはしっかりとやっていきたいというふうに考えておりますし、そういっためり張りをつけた形の募集については内部で検討させていただきたいと思いますので、よろしくお伺いしたいと思います。

以上です。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑はございませんか。5番、佐戸仁志君。

○5番（佐戸仁志君） きょう唯一得意な分野がありまして、浄化槽のことなんです、庁舎管理費の中の37ページです。工事請負費、浄化槽の下水への接続工事だと思うんですが、工事の内容といたしまして111万7,000円はどのような内容なのかお答え願えますか。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 今回、供用開始がされるということで、その接続に要する経費でございますが、浄化槽の廃止もいたしますし、基本的にそれぞれの下水に流す部分を公共ますまで掘削をして接続するというような工事内容となっておりますので、具体的といいますか、特別変わったような工事ではないというふうに思っております。

○議長（宮下愿吾君） 5番、佐戸仁志君。

○5番（佐戸仁志君） 答えてほしかったところが答えていただけなかったんですが、私が思いますに、接続をするに当たって廃止した浄化槽を砂で埋め戻すという行為がこの中に入っているんで

はないかなと思います。なぜそんなことを言うかといいますと、浄化槽の排水清掃業務、これはおのえさんがやられると思うんですが、汚泥をくみ取りましてジェットで中の洗浄をいたします。その後、消毒までをするものと私は思っております。その後、この使わなくなった浄化槽を防火水槽に使ってはどうかと私はずっと思っているんですが、浄化槽は当然水をためているものですし、大変丈夫にできております。材質もFPRで紫外線を当てない限り半永久とは言いませんが、長年使えるものでございます。

この伊根町役場、保健センター、診療所、全て木造の建物でございます。もしどれかの建物に火災が起きた場合、消火栓があるとおっしゃられると思いますが、消火栓なんかではとても消せるものではないと私は思います。どこから水をとるか、日出川と答えられると思うんですが、日出川は農繁期はゲートを倒しまして水は一切たまっておりません。次考えられることが定時制のグラウンドの防火水槽、あそこの水量はちょっと把握できていませんが大してないと思います。次は海、海から水を引っ張るのに1時間近くかかってしまうのではないかと私は思います。

そうすると、この大事な庁舎、診療所、保健センター、きっと類焼が始まって全部なくなってしまうのではないかと思います。せっかく私の計算では80人槽ぐらいの浄化槽で100t近い水がためられます。20人槽ぐらいの浄化槽で50tぐらいの水がためられます。要らなくなった消防車まで売ってしまう伊根町ですので、そんな無駄なことをせずに防火水槽1基をつくるのに、日出住宅で500万ぐらいたしかかかっていたと思います。浄化槽を埋めないということで工事費も111万から半値以下に私はなるのではないかと思います。ぜひ伊根庁舎、診療所、保健センターのことも考えて防火水槽に転用してはどうかと思うんですが、町長に意見をお聞かせ願いたいと思います。

○町長（吉本秀樹君） 私もちょうと詳しいことはわからんのですけれども、浄化槽を防火水槽に使ってもいいものか悪いものか、法規法令的にいいのか悪いのか、私ちょっと詳しくないのでわからないんですけれども、なかなかの名案だなと思って今聞かせていただいております。一般質問でちゃんと町民の皆さんに僕はこう思うと訴えていただいて、当然、私考えていただきたい。予算質疑ではもったいないご意見でございますね。検討させていただきます。

○議長（宮下愿吾君） 5番、佐戸仁志君。

○5番（佐戸仁志君） ぜひ検討していただいて、もちろん財政的にもお金は残りますし、これぞ伊根町という感じで私はいいのではないかと思いますので、ぜひよろしく願います。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 先ほど大体80tぐらいはたまるんじゃないかという見解といいですか、そういうことだと思います。現在使用されております防火水槽は40t、それが2基分だと思います。ただ1点気になりますのは、今は耐震性の防火水槽を設置するというのが義務づけられております。そういうような中でどのようにしていくかというのは今後大きな課題かなというふうには思っております。ですから今、町長申し上げましたように検討はさせていただきたいというふうに思っています。

以上でございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。10番、奥野良一君。

○10番（奥野良一君） 96ページでございますが、この間、全協でお話を聞かせていただきました。衛生費ですよ。労働費は違いますね、入っていますね。

せんだって説明をいただいたんですが、7年を経過しておると。前回苦い経験をしておられるというようなこともお聞かせを願いました。その中で今回、車両購入をされるわけですが、このし尿処理車というのは冬場も動きます。だからやっぱり四輪駆動車というものが必ず必要ではないかというふうに私は思うわけですが、その辺はどういうお考えなのでしょう。

それと、今現在、車でいいますと4t車、それを3t車にかえるような検討もされておるといことなんですが、この辺についてどういうお考えなのか。車両をかえて四駆にというようなことも考えられるのではないかというふうに思うんですが、その辺の住民生活課の思いをお聞かせ願いたいというふうに思います。

○住民生活課主幹（上山富夫君） し尿収集車、バキュームカーの更新に関するご質問でございま

す。

1点目は、冬期のことを考えて四輪駆動車が必要ではないかという議員ご質問でございますが、一定住民生活課のほうでも調べさせていただきました。検討もしてみたんですけども、北陸地方には確かに四輪駆動車のバキュームカーが走っておるところが数件あるよというお話はメーカーのほうからも確認をさせていただいたところですが、この近畿圏内ではほぼ4WD車は余り数は走っていないというふうにお伺いしています。

4WD車の必要性ですが、バキューム、くみ取りにつきましては住民からの周知をきちっとさえできれば、すぐにはくみ取り、冬期はなかなか行けない場合もございますというようなことで、早目の申込みさえすれば、どうしても積雪時のくみ取りに行かなくてもいいのではないかというようなことも考えております。これがし尿収集車よりもっと可燃収集のほうが必ず行かなければならない状況にはあろうかと思えます。そういったことから、今回のし尿収集の車につきましては4WD車、もちろん委託をさせていただいております業者の安全の確保等も考えますと冬期は4WD車のほうがよいには決まっておるんですけども、経済性等からも考慮・判断いたしまして、今回も二輪駆動車で更新を考えていきたいというふうな方向に決めさせていただいたところでございます。

もう一点、4 t級から3 t級にというお話でございますが、現在、現場のほう、ふるさと振興公社に業務を委託、お世話になっておりますが、どうしてももう少し細かいところまで入れたらより作業が効率的にできるという部分も十分声も聞かせていただいております。よって、今回は少しでも幅を小さくした4 t車種の部分が3 t車種の車両に切りかえて購入を考えていきたいというふうに考えております。

なお、もちろん4 t級から3 t級にかえるということでタンク容量も、予定ですが現在3, 200リットル入るところが3, 000リットルのタンクになるということをご現在考えております。よって200リットルの量が減ることにはなるんですけども、これにつきましては、今後ますます伊根地区の漁排の完成に伴ってし尿収集も少なくなっていくんだらうというふうにご考えております。現在の車も7年間ほぼ使ってきておりますので、今後のことも考えますと3 t級にしてもよりよい効率的な収集ができたほうがよからうということから一定の車両のサイズの検討をさせていただいたところでございます。

以上です。

○議長（宮下愿吾君） 10番、奥野良一君。

○10番（奥野良一君） 今の答弁を聞いておりますと、冬場の住民さんの早目の対応をしていただければ四駆は必要ないというようなお答えかと思えます。また、今の説明の中で北陸地方は四駆が多いと、この近畿といいますが、我々のところでは必要ないのではないかとご答弁ですが、北陸とこことどのようにして差をつけておられるんですか。必ずここも雪が降りますよ、四駆は必要なん違いますか。もう少し現場の声も聞いて対応をしてほしいというふうにご思います。

それから、主幹は今現在の車両のリットル数3, 200 tというふうにご言われておりますが、3, 300リットルでございます。この間確認をしてきました。3, 300リットルの今の車両でございますが、それが3, 000リットルになるという今の答弁も言われましたように漁排進んでくれば3, 000リットルがどうこうはないのではないかとご思うわけですが、ぜひとも現場の声も聞き、北陸がどうであるとか、現在伊根町も雪が降るんですよ。雪が降ったら委託を受けておるふるさと振興公社の従業員が非常に困っておられるわけですね。車両を選ぶにしてもやはりそういう現場の声をもう少し聞き入れていただいたらいかがかなというふうにご思いますが、その辺はどうですかね。

○議長（宮下愿吾君） 上山主幹。

○住民生活課主幹（上山富夫君） 確かに議員おっしゃるとおり、タンクの容量につきましては私3, 200と申し上げましたが、現場のほうでご確認いただいたということで3, 300だったかもしれません。間違っておりましたら申しわけなかつたです。訂正をさせていただきます。

それから、現場の声についてですが、現場の声も一定聞かせていただいております。ただ現場の声を全て行政の財政運営に反映していくということもなかなか厳しいところでございます。今回はもちろん委託していただいております方々の安全ということをご考えればもちろん4WD

が先ほども申し上げましたようによいには決まっておるとは思いますけれども、総合的な判断も行政として必要なのかなというふうに考えております。また、北陸地方とこことはもちろんいずれにしても雪はこちらももちろん降るんですけれども、その度合いなりも考慮した判断をさせていただいておるつもりでございますので、ご理解賜れたらなというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。8番、泉 敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） 不法投棄の対策事業でございますが、現場作業員、今現在どれぐらいおられまして、それと自動車の借り上げ、91ページです。作業員さんとしてしておられる方が何名と、それから車の借り上げということが計上されておるんですが、何台ぐらいを借りられておるのか。そしたら油が10万円ぐらいの燃料費が上がってきておるんですが、それらについても整合性があるのかどうかお聞かせ願いたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） 上山主幹。

○住民生活課主幹（上山富夫君） 不法投棄対策事業についてでございますが、現場作業員につきましては、予算計上させていただいているものにつきましては2名の予定でございます。

なお、この実施期間は冬期になかなか積雪等で少しでも隠れたらごみが見えないということもありますので、4月から12月末までを実施の期間とさせていただいておるところでございます。2名の雇用です。

これは国の緊急雇用対策事業を充当させていただいて事業実施しておりまして、車の借り上げにつきましては軽トラック1台の借り上げ料を計上させていただいておるところでございます。

○議長（宮下愿吾君） 8番、泉 敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） 軽1台として2人、道路脇に車をとめられてしておられて、火箸みたいなものでされておるんよく見ますけれども、実質2人では作業効率が悪いような感じがしてなんのんですけれども、もっとそういうのには人を増やすとかそういうことは全然考えられないんですか。

○議長（宮下愿吾君） 上山主幹。

○住民生活課主幹（上山富夫君） 確かに町を美しく、不法投棄の撲滅等を考えれば人数も、作業いただく方々も多ければ多いほどもちろんよいとは思いますが、どうしても荷台のある車、軽トラックなりでないとな作業もできないということから一番軽トラック程度が妥当だろうという判断をしておりますし、軽トラックに乗れる人数、2人が一番効率で整合性のとれた事業かなと判断して、2名で軽トラック1台により事業実施、展開を考えさせていただいておるところでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） ちょっと教えていただきたいんですが、65ページの社会福祉費の社会福祉推進事業、下のほうなんですけれども、社協さんに対しての補助だとは思いますが、このボランティアコーディネーター設置補助という部分は現在の社協さんでやっておられるお仕事のどの部分に当たるか教えていただきたいんですけれども。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） ボランティアコーディネーターさんの設置補助でございますが、ボランティア団体の各種の方が社協のほうに登録をさせていただいております。そのボランティアの方々の連絡調整なり、それから研修会等の事務をお世話させていただいております。1名です。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 83ページ、民生費の国民年金費なんですけれども、先ほどもありました母子保健事業の中で、今回新規で20節の利用者負担減額給付費の中で未熟児の養育医療費、新規計上で11万8,000円上げていただいているんですけれども、これはどういった形の、かかった医療費の何%補助とかそういうことになるんだろうと思うんですけれども、もし詳細がわかれば教えていただきたいんですが。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） この事業につきましては、これまで京都府のほうがやっておりましたが、それが権限移譲によりまして市町村のほうに回ってまいりました。一応ケースとしては府のほうから示された単価で2名分を計上しております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 87ページでございます。

一番下の診療所あり方検討事業37万5,000円計上されておるわけですが、これは大体いつぐらいまでこのあり方委員会を持たれて、大体どれぐらいで結果というか、まとめというか、報告というか、方向性を出していこうと思うのか、わかる範囲であれば教えていただきたいんですけども。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） この事業でございますが、一応予定といたしましては、回数としては5回ほど予定をしております。ただ検討内容によりましては回数がふえたりあるいは4回ほどで終わったりというようなことがあるかも知れませんが、一応予算上は5回分を計上させていただいております。

年度内に結果がいただけたらなとは思っております。できるだけ早いこと結果を出していただくにこしたことはありませんが、一応その辺のめどで年度内に方向性が示していただけたらなと思っております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。質疑がないようではありますが、1款議会費から4款衛生費までの質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（宮下愿吾君） 異議なしと認めます。これで1款議会費から4款衛生費までの質疑を終わります。

次に、5款労働費から8款土木費までを対象として質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 95ページ、96ページでございます。

労働費でございます。労働諸費、こちらのほうで重点分野雇用創出事業で賃金のほうに講師ということで入っております。学校の指導補助員さんではあると思うんですが、この重点分野雇用創出事業は失業者を雇用する事業というふうに私は認識しているわけなんです、失業者で教員免許を持った方が実際におられるということで、おられて年度が始まればすぐに雇用の開始が始まるという理解でよろしいのかということと、あともう一点、今度、96ページ、97ページの経済対策費でございます。

こちらの事業につきましては、商工会のほうで平成23年6月にこういった事業を一応請願ということで、議会のほうでも請願採択がされているわけです。またせんだっての産業建設委員会の中でこういった要望についても議会からも提案されたわけなんです、その中には町外の利用者についてはどちらにも掲載されておりませんでした。ここでは町外の利用者につきましては15%以内、上限15万円と。恐らく住民さんの中には町外の大工さん、工務店さんを利用されている方もいらっしゃる。そういったことも配慮しての結果だというふうに思うんですが、私この3月1日の議運が終わった以降、町民の工務店さん、大工さんあたり、電気屋さんを含めいろいろとお話を聞かせていただきました。町内に大工さんが十四、五名ですか、いらっしゃるそうです。賄い切れる金額ではないかと。伊根町内の事業者で十分できるんだよと、何で町外をそこに上がってくるのか。議会の中でしっかりと質問をしていただきたいということを言われましたので、そこらあたりについて町外事業者をここに入れた理由をご説明いただきたく思います。

○議長（宮下愿吾君） 講師の件はどちらで答弁。石野教育長。

○教育長（石野 渡君） ハローワークで公募をかけております。それを待っているという状況です。

○議長（宮下愿吾君） もう一点。梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 今、教育長が申しましたハローワークのほうにこれは届け出をしまして応募を待っている状況でございますが、この重点分野、この事業を活用しまして講師4名、ご承知のように雇用をしております。

この事業そのものが議員おっしゃられましたように失業者の方を対象にというふうなことで取り組んでいる事業であります、学校の先生につきましても大学卒業の方、就職がまだ決まっていないう方、免許を持っておられますというふうな方が応募をされるというふうなこともございます。ま

た、これまで講師をやられておりました4月以降の任用がないというふうな方もいらっしゃると思います。そういうふうな方に応募をさせていただいてうちのほうで面接をし、雇用をしているというふうな状況になっております。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 住宅改修助成事業の要綱の案の中身のご質問であったと思います。これまでから商工会からの請願、産建委員会からの中でも業者については町外という文言は一切入っていないということは議員のおっしゃるとおりでございます。

今回5%の差を設けたとはいえ、町外の事業者も要綱でできるように考えている理由でございますが、この期間については全員協議会でもご説明いたしましたように25年度から29年度の5年間ということで、町内約1,000世帯、全てしていただけたら20万で2億程度のすごい大規模な補助事業になると考えております。伊根地区では今、7月供用開始に向けて下水道の工事を整備しておるわけですが、下水道につきましては供用開始した区域、部分的に開始していくわけですが、3年以内に接続していただきたいという下水道法の適用をされておりますので、そのあたりでかなり伊根地区で建設をされる方は集中されるのではないかとということで、そこを懸念して伊根町内の、議員おっしゃったように14名から5名の大工さんがおられるんですが、いけたら一番ありがたいんですが、そこがちょっとどうかと。何件もかけ持ちをして実際に監督できるのかなという思いがありましたので町外業者も仕方なくといいますか、その住民目線に立って、住民さん方がやりたくても工事が待たされるということがあるのではないかと懸念から、5%の差はつけましたが町外事業者につきましても要綱の中で入れたという経過でございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。9番、大谷功君。

○9番（大谷 功君） 同じくその点で質問なんですが、5%程度の差ではよその町から自分から金を出してでも取りにくるというふうな懸念を僕はするんです。いうのもどことも不況で大工さんは大変ですわ。だからもっとこのところの差は広げておくべきかなと思うんですが、再検討をお願いしたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） もう少しこの経過をたどって考えますと、これは商工会から請願をいただく以前にずっと共産党さんが言うておられた話なんですね。それに対して我々は個人の財産に公金を投入するという事は、これはよくないんだと。他府県を見てもこんな制度をとるところはないですよ、与謝野町さんがまれであったぐらいで。本当は今でも私は若干の懸念はあるわけでありませう。それを今度は共産党さんだけ違うんですよ。自民党も一緒になって言うようになったんですよ。経済界も一緒になって言うようになった、そして議会からも来るという。勘違いせんといってくださいよ。伊根町以外は採択しておりませんよ、その請願を。趣旨採択とあります。こんなもの請願は採択か不採択しかあり得んですよ。それを濁した格好で趣旨採択という格好をとっただけですな。採択はされていません。

そして、それでもアベノミクスというのがありましたね。国もやり、そして府もやり、当然町もこういう経済対策、これは一体もので日本の国という意味では経済が沸くんですね。ここ一番でありますのでやろうと思いますね。確かに伊根の下水の普及もあるし、それから上辻議員が言われておったソーラーパネル、これもいけるんですよ。その補助もこれで確実にできるという、伊根地区はそれは使えませんが、逆に。それもあつたけれども、イの一番は住民生活の向上なんですよ、そこが一番で経済対策も兼ねておるといふこと。たかだか5万ぐらいと言われますけれども、5万をもらえるのともらえんのやったらどっちをとるんですかと思つたよ。課長が申しましたように、1,000世帯と考えたら20万でも2億円ですよ。2億円、伊根町が自腹を切る覚悟を決めたわけですね。2億円をもしみんなが本当に使ってくれたら10億動くんですよ。本当にそのときにもしそんなことがあつたときに町内業者だけで賄えたらいいんですよ。基本的に町内業者に頼みますよ、そんなもの。そうでしょう。頼まれなかつたらその人たちが営業をもっと気張ってもらわなあかん。うちもこういう政策を出すんだから業者ももっと頑張ってもらつて仕事をとって一緒にやってもらわんと、そういう問題だろうかと思つたよ。5万円もらえんと思つたら違うところにはほとんど行かんと思う。だけれども、さっきも言うておるように、仕事が重なつて重なつてしたと

きに、じゃ、おまえ、半年待ってくれ、1年待ってくれと言われたらその人の生活はどうなるん。じゃ、やっぱり町外に頼むわ。それはゼロにせえということですか。町外に頼んだ場合は、待ってくれと言われても。そこは住民生活の向上ということで基本的な幾ばくかは持ってあげなあかんの違うんですか、制度として。

ここのこういう制度をやるというのがまず皆さんの意見が来て、こういう制度をやるというのは決めました。そしてできるだけ町内業者を使ってもらおうということで差をつけたということでありますけれども、差が小さいという意見なんでしょうけれども、私は基本的にはこの制度について趣旨はこれで合っていると思うんですけれども、いかがなものかと思えますね。

○議長（宮下愿吾君） 町長、どうですか。その差はよろしいですか、差について検討は。

○町長（吉本秀樹君） 差をつけたということなんですよ。

○議長（宮下愿吾君） 再度検討は。

○町長（吉本秀樹君） 再度検討はと言われても。

○議長（宮下愿吾君） 町長。

○町長（吉本秀樹君） またこの400万円という数字がわずかな数字のように思われるんですけども、これは400万は科目設定と言っちゃ悪いけれども、どんどん来ればこれはもっと、あんたはあかんとか言わへんですよ、全部行くんですから。100件来れば2,000万になりますしね。そのときに柔軟に対応できるものも必要ではないかなと思っております。

○議長（宮下愿吾君） よろしいですか。9番、大谷功君。

○9番（大谷 功君） 説明いただいたんですが、住宅改修助成事業の400万は今科目設定だと言われましたけれども、いかにも僕はここ小さいなと思っておったんですけども、補正予算で対応されるというふうに考えておりますが、参考にこの400万の積算の大体の根拠が町内業者が幾らか、町外が何ぼかいう大体検討はされたのかなと。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 400万、町内業者全てしたとして20件になりますね。一応20件の20万ということで積算はしておりますが、20件の根拠と言われましても、先ほど町長が申しあげましたように何件来るかは。このお支払いにつきましては完成した後でお支払いをするということで、申請があった段階でお支払いするわけではありませんので、完成時期によってそんなにたくさんは完成はしないのではないかなということで、当面科目設定ということで20万円掛ける20件を計上させていただきました。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 町長さんの先ほどの答弁、もっともらしいなと思いついておったわけなんですけれども、5年間実施されるわけです。町外が何件だとも予測もつかない、できるかどうかもわからない。町内全部賄えるかもわからない。かといって全部町外でやってもらわなできないかもわからない。であれば1年目、町内限定でやられたらどうですか。町内、町外分けるんじゃないかと、1年目については様子を見るために町内業者に全てを任せます。ある一定の期間まで任せます。それでもなかなか仕事が賄え切れない、こういう現状が出てきたときには町外を認めるべきではないですかね。

与謝野町、京丹後市、同じようにこういった条例、要綱等お持ちでした。その中、向こうは世帯数もはるかに多いです。大工さんの数も工務店の数もはるかに多いです。でも一切どこの町も他市町の事業者を使った場合にも出すというのはありませんでした。ぜひそのあたり1年目については町内業者に限定して、それでもできなかったら我々もそれはもう町外をどうぞ認めてください。そうじゃないと住民さん困っていますよというシナリオを書けます。今の段階では件数的にもばくつとして20件、そんな答弁ではちょっといかがなものかなというふうに思います。住民さん困られるというのであれば仕方ない面はありますけれども、一度それを検討いただくということはできませんでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 休憩しますか。よろしいか、答弁。

○町長（吉本秀樹君） 予算審議でどうするの。そんな要綱のことを言うたって当初予算を通すか通さんかでやっておるのに、要綱をどうこう言われてもどうなんですか、議長。

○議長（宮下愿吾君） 暫時休憩いたします。

休憩 11時43分

再開 11時45分

○議長（宮下愿吾君） 再開をいたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまの濱野議員の質問につきまして、予算は一応400万で出されております。しかし、取り扱いの要綱についてやはり問題があるのではないかという指摘も受けております。理事者のほうでこれを検討いただいて、そしてまたご報告をいただくということで検討してもらえらる中での一応答弁をしていただくことにしたいと思いますので、よろしくお願ひします。白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） ただいま濱野議員、大谷議員からの意見がございましたので、これから要綱の策定につきまして今の意見を十分検討させていただいて、検討して作成してまいりたいと存じます。

○議長（宮下愿吾君） よろしいです、それで。町長、よろしいか。

暫時休憩します。

休憩 11時46分

再開 13時00分

○議長（宮下愿吾君） 再開をいたします。午前中に引き続き5款労働費から8款土木費までの質疑を続行いたします。6番、松山義宗君。

○6番（松山義宗君） 101ページなんですが、共に育む「命の里」事業ですね。これ、イノシシの解体の設備をつくれるということなんですが、当然、解体をした後というのは、次は販売かなというふうに私も考えるんですが、猟友会の皆さんには大変お世話になっていてありがたいんですが、その販売をされる時、まあ販売をするかどうかというのはちょっとわかりませんが、そういった次なる展開のことまでを考えてのことを地域整備課として助成されるのかどうかということをお伺ひしたい。

それと105ページ、有害鳥獣対策、これ、2,330万円。大変大きなお金なんですが、前年度、猿の調査をやられていたと思うんですが、あれは京都府の事業ではあるんでしょうが、伊根町として今猿の対策、今後どのように、イノシシ害よりも猿のほうの方がまた被害が大きくなったり、鹿のほうも大きくなったりしていると思うので、伊根町として、京都府を除いて伊根町として猿をどうしたいか、どんなふうに住民生活課あるいは地域整備課としてお考えなのかということをお伺ひします。

○議長（宮下愿吾君） 須川主幹。

○地域整備課主幹（須川清広君） 先ほどの「命の里」事業でのイノシシの解体処理施設でありますけれども、今回、施設を整備することによりまして生肉処理に必要な基準を満たした施設のほうを整備したいと考えておりました、保健所の許可のほうも当然とっていききたいというふうに考えております。あと、その肉も基準に合った施設での処理をしたということで販売のほうもしながら、特産品としてでも利用ができるように施設のほうの整備をしたいというふうに考えております。

また、イベントや学校給食などでも利用していただきまして、広く住民に鳥獣害被害の軽減のために捕獲や駆除をしているというようなことも周知しながら、活動のさまざまな駆除活動の広報の一環としても利用できるような拠点というような施設整備を考えております。

○地域整備課長（白須 剛君） もう一点目の猿の対策、伊根町としてのということでございますが、これまでから伊根町としましては駆除と、それから町民の皆さんへの広報で追い払い等お願ひしますという広報と、その二本立てで行ってまいりました。今年度においては猿の捕獲を実施しておりますし、来年度も引き続き捕獲を実施していきたくて考えております。

また、広報につきましても今年度も先月ですかね、研修会を京丹後市、伊根町、それから宮津市と2市1町でこの場所でさせていただきまして、その中でもやはり追い払いが一番効果があると、それも1人の追い払いではなく集落挙げて、おられる人みんなですら山まで追い払うのが一番効果があるということが再確認されたところなんです。そのあたりの広報についてもまたさらに周知していきたくてお願ひしております。猿については追い払いと捕獲、これでしかないと思っております。

また、その研修会の報告では猿もこれまでは伊根町では3群と言われていたのが4群、4つ

の群れになっていると、しかも数もふえているということですので今年度につき集団捕獲も引き続き実施していきたいと考えております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑。6番、松山義宗君。

○6番（松山義宗君） 捕獲した猿というのはどんな処理というか処分、殺処分をするんですか。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 全て殺処分した後に埋めております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに。8番、泉敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） 109ページの漁港管理事業の中で草刈り作業というのがあるんですが、当然、我が漁港だったら草刈っても当たり前じゃないかなというように思うんですが、それとまたもう一つは、次のページにいただいてきまして、京都府の漁協協会51万3,000円、また大きな金額と。毎年こんな大きな金額が出ておって一体何をされておるのかなと。誰ひとり、この漁港大会、どんなことをされておるのか、この金額の内容なんかもわかった人もいないんじゃないかなというほど金額が大きいので、その辺についての答弁をひとつよろしくお願ひしたい。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 1点目の漁港管理事業の草刈りでございますが、これにつきましては亀山集会所から先、カルビまでが漁港関連道となっております。大きな石の崩れとかは町で対応しておるんですが、年に1回、2回程度の草刈りや清掃、それを耳鼻地区と亀山地区の方が年2回程度していただいておりますので、その関係で町道と同じように報償費をお支払いさせていただいております。

2点目の京都府漁港協会負担金の関係でございますが、京都府漁港協会は京都府漁連、それから京都府漁協、そして京都府の沿岸3市1町の団体の集まりでございます。業務内容につきましては、京都府漁連が事務局を持ちまして漁港関係の講習会、研修会、それから視察、また漁港漁場協会、京都府の上に全国の協会がありまして、そちらのほうの全国大会への参加などそれらの研修と学習的な内容の業務内容を行っております。

○議長（宮下愿吾君） 8番、泉敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） 単なる研修とかそんなのに51万円も、かなりの金額、まだそんなのだったら漁業者に還元してあげて、もっと新しく漁業をされる方とかそういう制度のほうに持ってきてあげたほうが喜ばれるのではないかなと。そしてまた、海づくり大会も毎年大きな金額を使われておるといふ、その辺についてもかなり負担負担というので漁港についても負担で、そんな各地区の漁港が少しでもよくなってくるといったら、今のところ余り目に見えんという気持ちがするんですが、その辺もひとつよろしく答弁をお願いします。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 後半の海づくり大会につきましては毎年10万円の負担を別途組んでおります。本体の事業につきましては京都府の地域力再生事業などを活用して、できるだけ負担のないように事業を進めておるところでございます。また、その負担金の額についてでございますが、これにつきましては協会の負担金の要綱がございまして、事業費割りで出されるということでこれにつきましては伊根町、漁港事業が多いですのでマックス50万円ということで毎回負担金を算出されているところでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） 先ほどの松山君の関連なんですけど、現在、解体のところは個人のところでやっておるようですが、あの分については恐らく保健所等々のものはおらんのかなという気もしておりますし、また肉類についてもそうだろうなと思っております。今回、施設ができるのが8mの10mですか、ぐらいだったと聞いておるんですが、大きさが。その中にやっぱり冷凍室全部入っておるといふことですね。それと、先ほど松山さんがきょう言うたように肉売りのほうについてもちゃんと指導をして保健所の許可をとって、もう人に文句を言われんようなやり方にせんとあかんのかなという気がしておるんです。その辺もあわせてお願ひしたいというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 当然、保存施設も整備する予定としております。その運用につきましてはきっちりとこちらのほうでも指導していきたいと考えております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 林業費の107ページ、太鼓山風力発電所管理事業のところなんですけれども、昨年度予算では一般職給料として36万1,000円上がっております。ことしは18万1,000円に減額されておまして、かわりに13節の委託業務のほうで420万円から470万円にふえておるようなんですけれども、これは管理業務の報酬を上げられたという認識でよろしいでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） まず、1点目の人件費の関係ですが、昨年度の人事異動で前任者、年の大きい方の1カ月分を上げておりました。今回、人事異動によりまして若い職員になりましたので人件費はかなり下がっておる状況です。

また、委託費の積算の内訳ですが、管理人さんにつきましてはこれまでどおり420万円を予定しております。残りの50万円につきましては降雪時に圧雪してスノーモービルを走らすようにしたいと考えておりますので、その圧雪料として50万円を見込んでおります。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。5番、佐戸仁志君。

○5番（佐戸仁志君） 111ページの伊根漁港海岸保全施設整備事業なんですけど、ことし区長をしておまして12月に町長のところに要望に行かせていただいたときに、高梨区長から高梨側からしてほしいと、東平田の区長から今までどおりの流れで東平田側からやってほしいというような要望がありましたが、そのときにはご返事がなかったと思うんですが、こういうふうな工事請負費として1億10万円ですか、上がっているというのはもうやっていく方向が決まったということでよろしいのでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 補正予算のほうでご説明しましたが、今回、国の大型補正の関係で前倒して海岸保全の測量調査委託業務を発注しております。したがって、25年度の事業としては工事費を実施できる状況となると考えております。ただし、実際の発注につきましては委託料を繰り越しますもので、それが完成した後となりますので、かなり先となりますが、25年度予算では工事を実施するというので、場所につきましては東平田側からこれまでどおりやっていくという予定としております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。6番、松山義宗君。

○6番（松山義宗君） 123ページの道路橋梁管理事業なんですけども、その中の道路台帳補正業務というのがあるんですけども、これはそれぞれ工事した業者がその部分部分の付図を修正していくという考えではなくて、もう一括して出してしまうということであれば、その辺を少し改善されて、その受けた業者の人が付図自身を直して提出するというふうにすればこういった経費がかからないのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） この委託料につきましては、見込んでおりますのは道路改良を行って区域が広がったりされたところの図面を修正して数値を書きかえる作業でございます。これまでは議員おっしゃるようにコンサルタントに業者から上がってきた図面を提供しまして、それに基づいて修正を加えていただいていたというのが経過でございます。議員がおっしゃられた、その工事を請け負ったところにつくらすということですが、ちょっとまだ経験ございませんので、もし他市町でそういう事例があるようでしたら、ちょっとそのあたりも検討して比較をして、よりよい方向で進めていきたいと思っております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 115ページの観光費でございます。一般質問のほうでも触れさせていただいたと思うんですけども、観光費のほうで大幅な予算アップで積極的な観光事業のほうを取り組まれるということで非常に喜ばしいことなのでございますが、1点ちょっとお伺いしたいんですけども、115ページの誘客対策事業の部分で、これちょっと読み方が僕も余りわからないんです

けれども、通信運搬費の下の筆耕翻訳料というんですかね、これはどういったものなのかちょっとご説明お願いしたいんです。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 筆耕翻訳料のことかと存じます。写真コンテストを本年度予定しておりまして、その賞状の筆耕を依頼したいと考えております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） きのうの全員協議会のほうで101ページでございますが、農業者戸別所得補償制度推進事業、これ名称を変えないんですかという質問をさせていただきました。その後、答弁いただいております。この場でちょっと答弁いただきたいのと、103ページでございます、農地・農業用施設管理事業、こちらのほう、昨日の衛生費の中で特別旅費について説明がありましたが、特別旅費につきましては職員の研修の際の旅費ということでありました。今回、この事業では同様に負担金のほうで職員研修の費用が計上され、また普通旅費として旅費も計上されております。これは担当課が変わると統一性がなくなるのか、議会の議決事項ではありませんので、範囲外ですのでこちらについては答弁は不要ではございますが、ちょっとわかりにくいかなというふうに思いますので、以後このあたりは調整をお願いしたいというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 前回の農業者戸別所得補償制度推進事業の関係でございます。この事業名につきましては前回は説明いたしましたように前政権のときの事業名ということで、今と行っている事業としましては農業者経営所得安定対策事業ということで括弧書きでこの旧事業名として旧所得補償として説明等を農家の方にしているところでございますが、今回のこの予算に上がっております事業につきましては、これの推進事業費ということで農政局に確認しましたところ、まだ4月の段階ではこの事業のままで残っているということでしたので、年度途中で変わるということをお聞きしましたので、当初予算の関係ではまだこのまま行かせていただきたいと思っております。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 観光費でございます。今回、118ページ、119ページで観光施設整備事業ということで大西の町道沿いに駐車場約15台程度分とトイレができるというふうに説明いただきました。もし入札残が生じるようでしたら平田の新しくできた公園、こちらのトイレのほうの整備のほうもご検討いただければなど。住民さんのほうから夜間になると暗いとかいうところで、どうも家のほうに向かって悪態を、いろんな方もいらっしゃるようでございますので、また公園でもございますので、簡易なトイレでも結構です、消防団の詰め所もあります、ご検討いただければなどというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 議員おっしゃるとおり入札しますので、入札残、出ると思っております。その内容によって検討させていただきたいと存じます。

○議長（宮下愿吾君） 8番、泉敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） 117ページの観光関連の中で、清掃業務の中で各泊地区から大西公衆まで全部金額が違っておる、これの出し方等もどうなっておるのかちょっとわからない。今後、またトイレをつくられる、それらの清掃作業料金も出てくるかと思えますし、また蒲入の公衆トイレ、旧物産館ですが、これは前回、一般質問じゃなしに普通の質問のときにトイレの要望を出したと思うんですが、それに対しての一回も返答もないし、そのまま来ておるんですが、それらについての回答がございましたらひとつ教えていただきたいというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 1点目の観光関連施設管理運営費の管理委託業務の関係で金額の内容がさまざまということでございます。これにつきましては委託先がいろいろなところに委託となっております。泊につきましてはシルバー人材センター、本庄浜につきましては本庄浜区というように各地区に場所によっておのおのお願いをしております。また、平田の公衆トイレにつきましてはふるさと振興公社、新井公衆便所につきましては新井地区の方、それから蒲入公衆便所につきましては蒲入水産など、これまでから追加されるたびにおのおの委託をしているということで統

一できていない単価となっております。

また、2点目の公衆トイレのご要望の関係ですが、こちらから、京都府の施設ですので京都府に要望いたしました。その回答がまだ来ておりませんので、再度確認してお返ししたいと存じます。

○議長（宮下愿吾君） 8番、泉敏夫君。

○8番（泉 敏夫君） 管理業務を行うのはいろいろと違ってよろしいんですが、この積算というのが金額の出し方が全部まちまちになっておるように思うんですが、今後そういうのをトイレならトイレ掃除なら一括して行うのが一番いいのではないかなと思うんですが、その辺はどう思っておられるんですかね。今後またトイレを、今先ほども出ておりましたようにつくっていかうという話がある中で、それらも当然管理されていかなんだろうと思うんですが、その辺もあわせてひとつお願いします。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 説明がなかなかうまくできておりませんでした。泊と本庄浜の違いにつきましては、シャワー施設がどちらもあるわけですがシルバー人材センターと区との関係でシルバー人材センターのほうは経費に数%の手数料がかかると、本庄浜のほうについてはそれに駐車場のカウントとか入り込み等もいただいておりますというようにいろいろな細かい積算内容でございます。また平田の公衆トイレにつきましては浄化槽の管理も含まれておりますので値段がぐっと上がっております。新井と蒲入の公衆トイレにつきましては地元から要望があったもので、管理費はもう抑え目でやりますから建ててくださいというような、そういう地元からの経過があったのでかなり安い単価となっております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） 113ページのストックマネジメント事業についてちょっとお尋ねしたいというふうに思います。この事業そのものは平成22年からこの予算書等々に載ってきたかなというふうに思っていますが、現在、事業そのものが全くできておらんような状況であって、今回も業務委託、これは新井と蒲入ですか、というような方向なんです、一体いつになったら伊根地区のほうに事業に入るのか、わかればお知らせお願いしたいと。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 今回、補正予算でも説明いたしました、防波堤を予定しておりましたが諸般の事情で平田の岸壁になったということで、その岸壁の長寿命化の事業につきましては発注済みでございます。しかし、工期の関係で繰り越しをする予定としております。伊根はそこで終わりますので、これからは新井と本庄のストックマネジメントの詳細設計、そして工事を実施というふうに進めていきたいと考えております。

○議長（宮下愿吾君） 7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） じゃ、伊根地区は何年ぐらいの予定をしていますか。恐らく伊根地区と一緒にやるということはないだろうと思っておりますが、済んでから次にかかるのかなというふうに思っております。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 伊根地区につきましては、その水産会館がある前の荷さばき所の岸壁の長寿命化の工事だけですので、24年度の予算で終了いたします。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 113ページでございます。地域産業活性化事業、ふるさと納税の謝礼と申しますか、そういった制度だったと思うんですが、今年度から4,000円から4,500円に引き上げされました。これについて昨日は地域整備課さんのほうからご答弁いただいたんですけども、これについて確認したいんですが、送料はこの委託金額には含まれている、いない、お願いします。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 今回予算計上させていただいておりますのは113万1,000円でございます。今回、ふるさと納税の方々に送付いたします特産品等、この費用の単価につきましては4,500円で200名分を見ております。それで90万円になると思います。それにそういっ

た特産品を送る送料代が全国いろいろと北海道から南のほう九州のほうまでございますので、送料が非常に高いということからそれぞれ過去の実績を勘案いたしまして、その送料相当分を上乗せで予算計上させていただいております。それをあわせまして113万1,000円ということになってございます。

以上でございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 4,500円プラス送料となりますと、恐らく送料を入ると1人当たり5,000円を超える形になりますね。恐らく5,500円、5,700円ぐらい、クール便で送ると310円プラスされたりとかします。業務委託先としては大変ありがたい予算を享受していただいたというふうに思いますし、これによってますますふるさと納税のほうがふえていく形になるのかなという思いもしております。積極的に我々もPR活動は進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 今の単価につきましてはこれまで4,000円ということで4,000円の中で何とかしてほしいということになりますと、送料が高くついて中身が非常に貧相なものになってしまうと、これではやはり伊根町としてのイメージアップが図れないと、こういうような委託先のご意見をいただきまして、今回伊根町がやはりPRできる、伊根町の特産品として自慢できるものを送付することによって納税が一層ふえるものだと、このようなことで見直しをさせていただいたところでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 関連質問なんですけど、そのふるさと産品の中身なんですけれども、野菜だとか魚だとか生もの、伊根町の特産品だと思うんですけど、送られているのは。業者選定とかはどのようにされておるのでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 公募によりまして今現在行っておりまして、以前は商工会さんにもお世話になったと思っております。今現在、朝市の会さんにお世話になっておりまして、2件ですか、お世話になっておりまして、一応公募ということで、もう一件は伊根工房さんですね。やっております、そういった形でそれぞれ選択をしていただいてそのニーズに合ったものを送っていくということで、中身につきましてはそれぞれの委託先が工夫をされまして、それ相当の商品を送っていただいております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 117ページの観光費のところなんですけれども、観光振興教育事業、昨年度に引き続き町民を対象に年6回開催予定というふうに、ことしもセミナー等を実施するというふうにお聞きしております。非常に、この観光で食べていくためには日ごろ町長もおっしゃいますように、観光に携わっておられる方々もしくは観光地に住んでおる我々を含めた伊根町民、非常に意識の持ち方というのは重要になってくると思うんですけど、これは一応講師の報償金と講師の旅費が大半になっておるわけなんですけれども、この事業自体の評価とか見直し、成果の検証等はどのように行っておられるか、わかる範囲で結構なのでちょっと教えていただけますでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） この観光振興教育事業につきましては第5次総合計画で観光振興、伊根浦を核として全町に波及するというので観光振興ビジョンを策定したわけですが、その中の一つの大きな柱として人材育成、とりあえず人が育たないと進んでいかないだろうということで人材育成を主眼に置いた研修会と講習会を考えております。この年6回の中には、年6回程度と説明しましたが、この中には日美の関係もひよっとしたら一緒になって入ってくるかもわかりません。その効果と検証につきましては年度終了時の段階になると思っておりますが、観光振興ビジョンでありましたら評価委員会があるわけですが、この事業については担当課、地域整備課のほうで効果検証しまして次の施策に生かしていきたいと考えております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 117ページでございます。伊根町観光協会補助金交付事業、これは毎年のようにパンフレットの増刷費用、作成費用、計上されておりますけれども、一遍にたくさん刷れば当然安くなりますよね。毎年これは更新、何か変わることがあるからこういった形で予算計上されているのかということと、あと伊根浦ゆったり観光のほうが、これ118ページに関連することなんですけれども、ホームページ立ち上げられております。昨年については200万円の委託事業がありました。その中でサーバー管理費をお支払いになられたと思うんですが、25年度はサーバー管理料等は含まれてきていないんですが、25年度になるとあのホームページ消えちゃうということですかね。ちょっとそのあたりお願いいたします。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 1点目の観光協会のパンフレットの補助金でございますが、毎年5万冊から7万冊が出ているということで、その5万冊から7万冊の増刷分の補助をしております。一遍にたくさん刷って置いておくとかかなり割安にはなると思うんですが、最近、新しい開業された民宿とか廃止になるとかいうことが多いことがございましたので、最新の情報をできるだけ載せようということで1年におおむね5万から7万出るのでその分を増刷しようという考えで単年度にしておる経過があります。

もう一点のサーバー管理料でございますが、長期契約をいたしまして、今年度、次年度はその費用が発生しないような形にしております。5年の期間を予定しております。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） この観光協会のパンフレット増刷なんですけれども、24年度分、いまだに何か観光パンフレットできていないという話を私聞いております。3月ですよ。できていないらしいです。校正が上がらない。その中で新しく業者追加も入っていると聞いていますよ。こんなことでは我々観光業者、事業者の方々、皆さん泣いていますよ。早く、予算ついたんだったら執行したらいいんですよ。今回増刷してくれるということでありがたく使わせていただくことになると思いますけれども、なるべく早く、こういったことは予算がもう通った時点である程度していただきたいなというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） はい、おっしゃるとおりでございます。担当課からもいつなんだということで指導しておったんですが今に至ったということで、さらに指導強化してまいりたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。質疑がないようではありますが、5款労働費から8款土木費までの質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（宮下愿吾君） 異議なしと認めます。これで5款労働費から8款土木費までの質疑を終わります。

次に、9款消防費から14款予備費までを対象として質疑を行います。質疑ありませんか。6番、松山義宗君。

○6番（松山義宗君） 135ページの外国青年招致事業ですね、この金額なんですけど、どのようなものを根拠とされて出されておられるのかということが一つ、それと151ページの文化財保護関係事業ですか、この中の町指定登録文化財等補助金が前年度よりも100万円ほどふえていると思うんですが、この要因を教えてください。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 1点目の外国青年招致事業の積算でございますけれども、賃金としまして月額30万円というものがこれはあっせんを行っていただいております自治体国際化協会との契約の中でALTには月額30万円ですよというふうなことが書かれております。その30万円をもとに積算をいたしております。

151ページの文化財関係の補助金の108万8,000円につきましては前年度よりも約100万円増額となっております。これにつきましては平田の八坂神社の本殿の改修工事を25年

度から実施をされます。これは府の登録文化財にもなっております。府の登録文化財ということでありますので京都府のほうから補助金を受けまして実施をされます。町としましても町の指定文化財建造物に指定をしておりますので、町の指定ということで応分の補助を行うということで今年度計上させていただきます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 消防費についてでございます。町の管理する防火水槽、こちらに防火水槽の看板が設置されていない箇所を多く見受けられているわけでございます。そういった看板費用についてはこの予算の中でどこか計上されているのでしょうか。お願いします。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 今の濱野議員のご質問ですが、看板については今回の予算では計上はしておりません。基本的に土のうでありますとかそれぞれの各分団が抱えております消防機材の資機材あるいは防火服等、あと火災予防の横断幕、こういったものの計上でございます。防火水槽についての表示の見積もりは今回はございません。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 地区の管理する防火水槽につきましては地区が整備すべきものだという理解をしております。ただ、町が管理する分に余りにもちょっと防火水槽の看板が表示されていないケースが見受けられます。私、先日も筒川のほうまでずっと回って見てきました。実際、ないところのほうが多いです。できるだけ早くそのあたりは改善していただくよう予算計上するなり、防災倉庫に余っているという話もありますので、ぜひお願いしたいなというふうに思います。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 町の管理しております防火水槽については、今ご指摘のあったような状況であるのは一度確認させていただいて対応を考えていきたいというふうに思っております。

○議長（宮下愿吾君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 総務課長が申し上げたとおりですけれども、私も長年ずっと各地区の要望を聞かせていただいておりますけれども、そういう防火水槽の表示をせえという要望はまだ一度も聞いたことがなくて、各区長さんからも一度も要望はなかったように思うんです。でも町の管理の件でありますので、調べましてまた対応させていただきたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） ほかに。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 131ページ、災害対策費なんですけれども、私も一般質問させていただきました。サンオール跡地の防災センターの工事請負費につきましては内容としてはどういった、詳細を教えてください。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 上辻議員のご質問ですが、一般質問でご指摘のあったサンオールの倉庫について非常に防犯にしても管理にしてももう少し改善すべきという、こういったご意見をいただいております。その意見を踏まえまして本年度予算化をさせていただきました。その内容につきましては非常に雑草、雑木が繁茂しておりますので、そこをしっかりと除去させていただきたいというふうなことで、仮に台風23号のような大きな瓦れきが発生した場合は一時ストックできるぐらいのそういう対応でもってそういった用地を確保していきたいというふうに考えておりますし、サンオールの周辺につきましてはやはりこれも草がかなり生えてきておりますので、周辺を大体2mぐらいでコンクリートを打ちまして除草といいますか、その対応がしやすいような形で対応していきたいという今回の工事費を計上させていただいているところでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 教育費でございます。139ページ、コミュニティ・スクール事業でございますが、予算計上を推進委員の予算として計上されておるわけですが、当町今後の教育行政を考えていきますと少子化になっておまして、人数が少ないけれども中身のある教育のほうをこれからもやっていきたいというふうに私個人も思っておりますし、保護者のほうもそう望んでおられると思います。コミュニティ・スクールという事業自体は私、非常に個人的には評価しておまして、非常に伊根町のこれからの教育行政にとっても非常に重要な事業だと思います。これは国からの補

助になっているんですか。すみません、一旦それで質問、お願いします。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） コミュニティ・スクールにつきましては国からの補助ということで取り組みを進めております。ただ、国からの補助金はあるんですが、あと人材のほう地域と連携をしながら確保していくということになります。第三者機関というように位置づけております。

○議長（宮下愿吾君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） ぜひ、この事業、国、府からの補助というのがちょっと私のほうも勉強不足でわからないんですけども、いつどこでどう切られるものかもわかりませんが、ぜひ今後ともこのコミュニティーを軸にした教育というのを今後もやっていただきまして、さらにいい事業にさせていただけるようお願いしていきたいと思っております。

○議長（宮下愿吾君） 答弁よろしいですね。

○1番（和田義清君） はい。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。10番、奥野良一君。

○10番（奥野良一君） 消防費とは関係ないかなというふうに思うんですが、教えてほしいことがあります。各集落に消火栓の用具の入ったケースと申しますか、ホース2本とかそれから消火栓をあける器具とか筒先が1本とかいうふうにあると思うんですが、その容器に関しまして私のところが今、7基据えつけていただいておりますが、もうその容器が腐ってきているんですね。ほんで、ちょっとこの間これをお願いしましたら、もう2回目は区のほうの対応でやってくれというようなことで、多少の補助はあるんですがということをお聞きしておるんですが、本来、その消防の集落内の消火栓の器具庫というものは町のものではないのかなというふうに私は思っておるわけですが、区のほうで対応せえと言われておるんですが、7基のうち3基がもう腐って落ちておるというような状況ですので、もしいい方法がありましたら教えてほしいというふうに思いますが、よろしくをお願いします。

○議長（宮下愿吾君） 泉課長。

○総務課長（泉 良悟君） 奥野議員さんのご質問ですが、期待に応えられるような答弁にはならないかと思いますが、以前からも区のほうから要望を出していただいております。自治振興補助金で10分の6で補助支援をさせていただいているというのが今日までの経緯でございます。それを何かいい方法ということになりますと、なかなかちょっと答弁が難しいということになりますので、またそれぞれ区の課題でありますとかいろいろといきいきまちづくりの事業も創設をさせていただきましたので、その辺を工夫しながら区のほうでご検討いただければ幸いです。

以上でございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 145ページの本庄中学校閉校記念事業ということで、記念誌策定に当たり記念誌を作成されておると聞いております。何部作成の予定でしょうか。何か聞くところによるとちょっと取り組んでおられることが予算が足らなくてちょっとしんどいなというような意見も聞いております。何部ぐらい予定なんですか。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 廃校記念誌につきましては学校のほうで各本庄・筒川地域の区長さん方を中心をお願いをして立ち上げられて現在活動されております。その記念誌の委員会の中で冊数を何冊にするかという検討をしていただくことになっておりますので、教育委員会としまして何冊をというふうなことでお願いはしておりません。参考としましては朝妻小学校が閉校したときの記念誌を700冊作成されております。これが一定の基準となるのかなというふうに思います。ですから、今度は本庄・筒川という地域が2地区になりますので700冊以上は作成されるのかなというふうには思っております。費用につきましても一定補助金の要望も受けておりますので、十分な支援はできないかもわかりませんが、新年度の予算には応分の補助金の額を計上はさせていただきます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） 145ページの中学校スクールバスの購入費でございますが、29人乗

りと10人乗りを購入ということでございます。金額は1,000万円ぐらいでえらい安いのかなというふうに思っておるんですが、見積もりはちゃんととっておられると思うんですが、金額わかったら教えていただきたいというふうに思いますが。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） スクールバスにつきましては議員おっしゃいましたように29人乗り、運転手含めてですけれども、この29人乗りが690万円です。それから10人乗りが280万円ほどになります。このスクールバス購入につきましては附属品等も当然つくわけですけれども、それは補助対象外となっております。本体部分について2分の1の補助、上限250万円、1台につき250万円というふうな、そのような事業になっております。ただし、寒冷地だとか特殊な事情によって附属品についても補助対象になることがあるというふうには聞いておりますが、基本的には車両本体が補助対象ということでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 149ページの成人式開催事業ということで、この151ページのほうで出演者というのはどういった人が出演されるのかということと、また18万円の予算ということで何かすごい質素だなというような気がするわけですが、二十歳の思い出として伊根町で成人してもらおうということで、やっぱり意味のある、夢のある、希望のあるようなものにしてあげてやってほしいわけですが、この出演者というのはどういった方なんでしょうか。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 成人式の出演者といいますのは、以前は式典の前にオープニングイベントとしまして本庄上に住所を持っておられます琴音庵さんという方の琴の演奏をお願いしておったわけですが、今年度、もう間もなくありますけれども、今年度から平田出身のQ U - Eさんという女性の方と男性の方の2人のデュエットの歌手がいらっしゃるわけですけれども、グループがいらっしゃるわけですけれども、その方々に来ていただいてミニコンサートをしていただくというふうなことになっております。地元の方がそうやって歌手として活躍をされ、そして外から見た伊根町なり、また自分が経験してきたことを直接新成人の方にお話をさせていただけるという形で大変いい機会かなというふうに思っております。

また、全体予算につきましては以前は私どもが成人式のときにはもう少したくさんといいますか、予算をかけていただいて懇親会といいますか懇談会も盛大といいますか、今よりは少し盛大にはしていただいておりましたが、昨今の状況によりますとなかなかそのような形で盛大にというのは厳しい状況かなと。また、ここ数年の新成人を見ておりますと、式は式で早く終わって自分たちで気の合った仲間が寄って何かそこでみんなでわいわい懇親を深めたいというふうな傾向が見られます。が、主催する側としましてはやはりその方々の近況の報告もいただきたいです、今後のことについてもお話を聞かせていただきたいです、そのような状況から少額ではありますけれども、ちょっとしたそういう懇親の場を持って懇談をさせていただくということで取り組んでおります。

○議長（宮下愿吾君） 2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 成人式ということで毎年テレビで見ると、よそのほうでは若い人たちがいろんな問題を起こしたりとかあるわけですが、当町にはそんなことは一切ない町だと僕は認識しております。若い人たち、きょうまで二十歳、成人式を迎えた方に聞いてみますと、もうちょっと盛大にやってほしいなとかいうような意見もありましたので、また今後とも参考にさせていただきたいと思います。

以上です。答弁はいいです。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 成人式に関連でございます。昨年、一昨年と成人式に出られた方から私のほうにお寄せいただいた意見として、記念品、マグカップのようなものだったでしょうか、余りにも記念品として持ちたいというふうに思うようなものではなかったと。私も以前、成人式で町からいただいておりますが、今どこにあるかわからない状況でございます。ぜひ、本当に記念に残るようなもの、それを見て伊根町をまた思い出していただく、そういったものがあればそういったものをできれば記念品としてお渡しいただくのが一番いいのかなというふうに思っていますので、ご検討よ

ろしくお願いいたします。

○議長（宮下愿吾君） 何か答弁しますか。よろしいか。はい。

ほかに質疑ございませんか。9番、大谷功君。

○9番（大谷 功君） 149ページの10款教育費、4項社会教育費の社会教育推進費です。サマーキャンプ補助金ですが、去年から1泊2日になったんじゃないかと記憶しておるんですけども、説明では2泊3日というふうに説明されて、金額も10万円ほど減っていますか、そこらのことを説明お願いしたいのと、その下の社会教育関係団体補助金です。これも10万円ほど減っておるわけですが、これは団体数が減ったのか、それとも単価を切り下げたのか、そこらについて説明をお願いします。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） それでは、最初のサマーキャンプの補助金の関係ですけれども、これにつきましては今年度実施いたしましたキャンプにつきましては天候ですね、非常に暑いというようなこともあったり、異常気象といいますか天候の関係や参加人数の関係、それから使用します施設等を考えまして、今年度は筒川の文化センターを基地にして取り組みました。その中で、これまで2泊3日で取り組んでおったものの中身の事業を精査しまして、人数も少ないということも含めて事業精査をした結果、1泊2日で今年度24年度についてはいこうというふうな形でいって、その指導者の方を含めた中で検討し実施をいたしました。

当初予算、25年度につきましては従来のに戻して、できるものであれば2泊3日、これまでどおりのキャンプというふうな形で取り組みたいというふうな思いがございます。金額の減につきましては人数が減少したということが主でございます。

また、このサマーキャンプにつきましては、25年度につきましてはご承知のように和東町との友好協定条約というものがつい最近締結をされました。その中で教育分野での友好交流というふうな形でも考えております。どのような形がとれるかといいますと、まず考えられるのは夏休みを利用したこのようなサマーキャンプかなというふうな思いを一定は持っておりますけれども、これは具体的にはまだ教育委員会事務局サイドだけが考えていることでありまして、具体化に向けてはまだ全然未確定なものではございますけれども、そのようなことも考えており、このサマーキャンプにつきましては新年度に入ってからまた補正等で増額をお願いするかもわかりませんが、そのような形で取り組んでおります。

それから、社会教育関係団体につきましては1団体の休止というふうなことがございますので、その部分について減額となっております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） ちょっとお尋ねしたいんですが、153ページの筒川文化センターについてちょっとお尋ねしたいと思います。このものはもともと伊根町の筒川小学校であって、その後、廃校になり、宿泊施設等々も現在やっておるわけなんです、このごろ言われておるのはやっぱり耐震問題、そういったものは全くあそこの文化センターではやられておらんのかなというふうに思っております。それと、人を泊めておるということになる今後そういうことも必要なのかなというふうに思うんですが、その辺からどうですか。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 筒川文化センターにつきましては議員がおっしゃいましたように宿泊施設と横に体育館も併設をしております。体育館につきましては町民体育館というような位置づけでございますけれども、確かに耐震化につきましては現在、学校を主として国のほうからも耐震化を早くするというふうな形で補助金の増額もされながら取り組まれておりますが、社会教育関係施設につきましてはまだそこまで、学校に比べまして耐震化に向けた指示といいますか要請といたしますか、それが来ていないような状況でございます。来ていないからといってほっておいたらいいんかというふうなお話にもなるかと思っておりますけれども、現在のところは耐震化に向けての検討はいたしておりませんというのが実情でございます。

○議長（宮下愿吾君） 7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） そういう分の宿泊施設ですので、それこそ地震が起こると、人の命を預

かっておるといことになるので、町長、どんなお考えですか、そのことについては。

○議長（宮下愿吾君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） あの校舎を耐震化しようと思うと多分また億単位の金になるんじゃないかなと。我々の行政の仕事として宿泊者がおるから億単位の金をかける、それを取り戻すには何十年もかかりますね。ちょっとそこまで来ると大きな決断をしなければいけないんじゃないかなと、そう思います。

○議長（宮下愿吾君） 7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） 金がかかって何とかならないんだったら、それこそ宿泊者については保険は掛けているんですか。全くなしですか。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 宿泊者の保険につきましては掛けてはいません。一度確認をさせていただきます。

○議長（宮下愿吾君） 7番、三野三千彦君。

○7番（三野三千彦君） そのことは、いわゆる地震だけじゃなしに火事ということも考えられるので、その辺もちょっと考慮していただけたらなというふうに思いますが。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 建物共済等にあつて建物の火災、その中に宿泊施設でありますので宿泊者といひますか、その共済の中がどのようなになっているかというのをちょっと調べてみないとわかりませんが、宿泊者につきましては宿泊される方が旅行で来られる方でしたらその旅行の中で保険を掛けていらっしゃるのかなというふうな思いはありますが、先ほど言いましたように一度確認をさせていただきます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。2番、上辻亨君。

○2番（上辻 亨君） 151ページの伝統的建造物群保存事業ということで、伝統的建造物群修理修景事業補助金ということで4,000万円、おとしには17件、昨年は10件と説明をいただきました。修理のほうが増減傾向にあるんでありますけれども、修理される方、申込者が減っておるのか、もう修理する必要がなくなっているのか、ちょっとお聞きしたい。

○議長（宮下愿吾君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 件数につきましては例年と余り変わりなく20件前後の申し込みがございますが、その中から審議会の中で選定をしまして優先順位をつけまして緊急性だとか舟屋であるかとか、いろんなそういうふうな優先順位をつけまして、一定の件数を確保しております。昨今の基礎部分だとか、従来は外壁とか屋根部分の修理が多かったんですけども、舟屋に関しましては地盤沈下等によりまして基礎部分が沈んでいるということで基礎部分の復旧についても補助対象となっておりますので、その部分で金額が多少張ってきております。ですから、件数がふえたんですけども若干事業費が増額になっているというふうなこともありますし、逆にその金額が少なくてこれは事業から外そうといひますか、伝建物じゃないので今年度については先送りにしようとかいうふうないろんな操作を審議会の中でやるわけです。その中で事業費を決定していくというふうなことになっておりますので、年によっての上下は出てこようかなというふうには思っております。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。質疑なしの声がありますが、質疑を終わりたいと思ひますが、ご異議ありませんか。9款消防費から14款予備費まで、異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（宮下愿吾君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上をもちまして一般会計全般にわたる質疑を終わりたいと思ひます。

休憩をいたします。2時半の再開にいたしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

休憩 14時15分

再開 14時34分

○議長（宮下愿吾君） それでは、再開をいたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

最初に、答弁保留となつておりました答弁の申し出がありますので、それをお受けいたしたいと思ひます。芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 濱野議員さんからの父子家庭医療への支給の関係でございますが、この関係につきましては、実は当初予算の算定時にはまだ内容が確定しておりませんので、内容が確定していないものをちょっと今回上げるわけにはいきませんので、当初予算からは外させていただきました。先日、詳しい内容が決まりましたので、それも8月からの支給というようなことでございますので、それに間に合うように所要の規定の改正だとか、それから予算措置の対応をとらせていただきたいと思いますので、ひとつよろしく願いをいたします。

それから、放課後児童クラブの和田議員さんからのご質問ですが、アンケートにつきましては一応放課後児童クラブの現在の状況というようなことで開所日から開所時間、それから送迎利用料の現在の状況を記載させていただいた上で調査をしておりますので、よろしく願いいたします。

それから、上辻議員さんの8月14日の2人希望があったが利用がゼロとの件でございますが、この件につきましては子供さんの急な都合で利用ができなかったというようなことでございますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（宮下愿吾君） 次、梅崎次長、答弁をお願いします。

○教育次長（梅崎 良君） 三野議員からの筒川文化センターの宿泊者への保険の関係でございますけれども、25年度の予算に計上しております総合保険の関係で町が管理しております施設等の中での事故といいますか、その場合には保険の対象となるというふうなことでございますので、それをもって対応をさせていただきたいというふうに思っております。

◎ 日程第3 議案第2号

○議長（宮下愿吾君） それでは、日程第3、議案第2号 平成25年度伊根町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は慣例によりまして国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出決算を一区切り、伊根診療所勘定歳入歳出決算及び本庄診療所勘定歳入歳出決算を一区切り、合計二区切りとして行いますので、よろしく願いをいたします。

それでは、最初に国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算の質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 172ページ、173ページ、国民健康保険税でございます。

こちらの保険税の予定収納率は何%を見込んでおられるのか。またもう一点が、こちら、答申が賦課目標額については据え置きという答申をいただいたということでございます。3月1日に議運があって3月4日に運協があって、運協の中で答申がこれが出された。もし仮に運協の中でこの賦課目標額が高過ぎる、安過ぎるという討論があった場合、否決された場合、修正された場合、予算は修正される予定があったのかどうかお聞かせください。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 保険税の関係につきましては一応、これまでの経緯から単純に被保険者数の見込み数を掛けて出しております。見込んでいない。

それから、運協で否決となった場合の保険税の乗率でございますが、それこそ据え置きということですので、仮に上げるとなりますとなかなか難しいところがあるんですが、据え置きということになりますのでご了解がいただけるものかなというようなことで進めさせていただきました。本来はもっと早くすべきところだったんでしょうけれども、このような時期になりました。

○議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） これ、昨年度の当初予算でも私、これ答申されていないんですよという話しましたよね。答申しないんですかという話をさせてもらったと思うんですけども、今回、運協がおそくなって申しわけなかったというのはわかるんですけども、よその市町村、2月にやられていますよ。何で3月になってこんな、議運の後ですか。運協すら開催する気はなかったんじゃないんですか。忘れておったとしようと思ったぐらいにしか思えないんです、この日程では。こんなことではやっぱりいかんですよ。運協そのものの意義が全く度外視されている。あり得ません、こんなことは。以後、こういったことのないようにお願いしたいと思います。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 申しわけありません。ちょっと日程調整のほうでどうしてもその日しかできなかったものですから、3月の下旬になってしまいました。今後は十分に2月なり早い段階で運協のほうを開かせてもらいますように予定をさせていただきますので、今後十分注意をしまいたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） もう一点です。保険事業費のほうで特定健康診査事業費、こちら今パブリックコメントが出されて、この計画そのものの議論が今パブリックコメントとして行われている段階でございます。このパブリックコメントの実施云々関係なく、今の計画案でこの予算は策定されているという理解でよろしいのでしょうか。あと、日程的にこのタイムスケジュールが本当に正しいのかどうか。その2点、お願いいたします。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） それこそパブコメをとっておる段階でのことですが、予算につきましては反映をさせてもらっております。それから日程につきましては、これも本来でしたらもう少し早く運協等開催いたしまして健診の内容を十分に委員さんに検討していただくべきところでございますが、今回このように開催時期がおそくなりまして、その辺のところも十分に早く段取りをすることができませんでした。大変申しわけなく思っております。今後は十分注意したいと思います。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ございませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） もう今の件をそれ以上突っ込んでも仕方ありませんので、次回以降しっかりしていただけるものだというふうに思っております。

保険税のほうが前年対比で約1割の減と見込んでおられます。その要因をお願いします。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 先ほど申し上げましたとおり、被保険者数で出しておりますので、被保険者数の減によるものでございます。

（「要因を教えてください」の声あり）

○議長（宮下愿吾君） 質問してください。濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） お答えになっていないんですけども、私が聞きたいのは、減った要因は何かあるんですかと聞いているんです。減ったのは書いてあるとおりでわかるんです。要因は何ですかと聞いている。

○議長（宮下愿吾君） 芦原課長。

○住民生活課長（芦原 誠君） 減った要因は、去年も同じ税率で出しておりますので、去年の被保険者数とことしの被保険者数が減りましたので減額となったということでございます。

○議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 質問の仕方が悪かったようなので、運協のほうで据え置きということで答申されました。1人当たりの賦課目標額を据え置くということは、被保険者数が同じ場合、保険税として集める総額は変わらないはずですが、でも1割も被保険者数も同じように減少するという見込みですか。

○議長（宮下愿吾君） 暫時休憩をいたします。

休憩 14時45分

再開 14時46分

○議長（宮下愿吾君） 再開をいたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

ほかに質疑はございませんか。質疑なしの声がありますが、質疑ありませんか。

質疑がないようではありますが、国民健康保険特別会計事業勘定の質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（宮下愿吾君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、伊根診療所勘定歳入歳出決算及び本庄診療所勘定歳入歳出決算の質疑を行います。質疑あ

りませんか。両診療所勘定の今質疑なしの声がありますが、質疑ありませんか。よろしいですか。

質疑がないようではありますが、伊根診療所勘定、本庄診療所勘定の両診療所の質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(宮下愿吾君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第4 議案第3号

○議長(宮下愿吾君) 次に、日程第4、議案第3号 平成25年度伊根町簡易水道特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。1番、和田義清君。

○1番(和田義清君) 歳入の237ページ、使用料のところでございますが、前回の説明会のとき、大体毎年50件前後の給水届が出ておるといふふうにお伺いしておるんですが、使用料と今後の使用者数の減少のことを考えると大体どれぐらいから見込みとして値上げ等の勘案とかは何か考えておられる予定がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

○議長(宮下愿吾君) 白須課長。

○地域整備課長(白須 剛君) 使用料の見直しの話だと思います。今年度につきましては本来でしたら2年ごとに水道下水道審議会を開催する予定を、24年度で開催する予定を25年度に1年延ばしました。その理由につきましては、簡易水道の公債費の償還がこの26年度以降で27年度から減るということで、そのあたりも考慮して一度適正な水道使用料を見直そうということによって上げることは考えておりませんが、できれば下げたいという気持ちもあります。それは以前から議員さんからも区長要望からもありましたように、基本料額を見直したらどうだとかいうような意見もございましたので、そのあたりを水道審議会で財務状況をお示しして審議していただきたく考えております。

○議長(宮下愿吾君) ほかに質疑ありませんか。質疑がないようではありますが、質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(宮下愿吾君) 異議なしの声があります。これで質疑を終わります。

◎ 日程第5 議案第4号

○議長(宮下愿吾君) 次に、日程第5、議案第4号 平成25年度伊根町下水道事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。

○3番(濱野茂樹君) 228ページ、229ページでございます。

私、9月議会の決算質疑の中で下水道特別会計で特殊勤務手当の支出の適当性を質問させていただきました。その際の答弁は、「議員おっしゃるとおり明記されておりません。条例等について整備を適正にしていきたいと考えております」でありましたが、その後、職員の特殊勤務手当に関する条例等の改正は行われていないと思っております。この予算計上、どういう根拠によって特殊勤務手当が計上されておりますか。

すみません、間違えました。261ページです。

○議長(宮下愿吾君) 白須課長。

○地域整備課長(白須 剛君) 議員おっしゃるとおり、9月の決算の質疑でそのご指摘がございまして、当然条例にないということで見直すという答弁をしたところでございます。大変申しわけありませんが、その答弁の内容が反映されていない予算書となっております。まことにおわび申し上げたいと思います。これにつきましては早急に見直しをしていきたいと考えております。

○議長(宮下愿吾君) よろしいか、濱野議員。3番、濱野茂樹君。

○3番(濱野茂樹君) 例規担当課長の総務課長、この件につきましてどう思われますか。

○議長(宮下愿吾君) 泉課長。

○総務課長(泉 良悟君) おっしゃるとおりでございまして、本来ですと予算上としてはこのまま執行留保を考えて、例規が整備された後に執行するという対応を私は考えております。

○議長(宮下愿吾君) よろしいですね。3番、濱野茂樹君。

- 3番（濱野茂樹君） 町長、執行留保される予定でございますか。
- 町長（吉本秀樹君） そのとおりであります。
- 議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。3番、濱野茂樹君。
- 3番（濱野茂樹君） せんだっての補正予算の質疑の中で、こちら下水道会計で消費税還付金のことを質問させていただきました。一旦課税事業者ということで2年間継続した後でなければ課税業者はやめることはできないはずでございます。ということは、この25年度の予算においても消費税の納税か還付金が見込まれるものと思われませんが、どうして当初予算で計上されないのでしょうか。
- 議長（宮下愿吾君） 須川主幹。
- 地域整備課主幹（須川清広君） 本年も課税対象事業者ということで還付が受けられます。議員さんの言うとおりでございます。ただ、還付の税額が11月に確定するというので12月の補正で対応したいというふうに考えております。
- 議長（宮下愿吾君） 3番、濱野茂樹君。
- 3番（濱野茂樹君） 簡易水道では予算計上されているんですよ。金額がわからないという答弁はあり得ないでしょう。先ほどの特殊勤務手当の執行留保の話もありましたけれども、その場しのぎで答弁されているように思わざるを得ません。計上の漏れがあっただけじゃないんですか。
- 議長（宮下愿吾君） 須川主幹。
- 地域整備課主幹（須川清広君） 大変申しわけございません。計上の漏れであります。額については先ほど申しましたように11月になると確定するというので、その辺で対応したいというふうに考えております。失礼しました。
- 議長（宮下愿吾君） ほかに質疑ありませんか。質疑なしの声がありますが、これにて質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。
- （「異議なし」の声あり）
- 議長（宮下愿吾君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 延 会

- 議長（宮下愿吾君） お諮りをします。本日の会議はこれで延会としたいと思いますが、ご異議ありませんか。
- （「異議なし」の声あり）
- 議長（宮下愿吾君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで延会することに決定をしました。

3月14日木曜日、あすは午前9時30分から開催の予定ですのでよろしくお願いをいたします。
延会 15時06分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員